婦人運動

十二月号

職

産兒制限普及會編（産兒制限叢書第一輯）

通俗避妊醫學

定價 金廿錢
送料 金二錢

産兒制限に就て實行の時代が來た、もう議論の時代でない。大衆は潮の如く押し寄せ、如何なる方法を、如何なる藥品を、如何なる器具を！と求むる聲の高さことよ！

本會は此の要求にすぐ應ずるため本書を刊行し、かくすれば多産地獄、生活苦患より救はるるといふ「道しるべ」を大方に訓へたものがこれである。

目次

發行所 産兒制限普及會
東京・池袋二、一四三
電話大塚一六二八番

發賣所 東京市本所區林町二ノ七八 職業婦人社 振替口座東京六四一〇六番

婦人運動（第八卷第十號）十二月號

新たなる闘ひに備へて結束せむ

◇今日の不景氣を、識者は世界的な經濟恐慌と申してゐます。私たち素人の目にも、今日のこの不景氣が底の知れない絶望の不景氣であることは種々なる社會相に依つて感取することが出來るのです。

不景氣に處する道は如何に？

◇思ふに、私たちは余りに長く個人主義的な教育をうけて成長しました。金子が有る時、無い時、私たちは常に、自分に委ねられてゐる財布の限界內でものを買つたり買はなかつたり、儉約をしたり贅つてみたり、しつゝ、でも成べくムダのない樣にと心掛けて生きて來ました。

◇然し、個人的にいかに細心の注意を拂つてムダを排除したところで、その心遣ひの大きさにも拘らず社會的に形づくられてゐる大きな〳〵ムダ――即ち、資本主義社會が必然的に產み出してゐるところの大きなムダの根底的な排除に心掛ける用意を私たちが欠くならば、多くの個人はそのムダの下敷となつて痛ましくも踏みにぢられてしまふでせう。

現實の不景氣とは、この資本主義社會の本質として今の社會が持つところの大きなムダの前に、個人の生活が、踏みにじられてゐることに外ならないのであります。

◇不景氣に處する道は？　私は敢へて申します。團結することです、資本主義社會のために全てのプロレタリアートが結束して起つことですと。

私たちが『もの』を買ふ場合にも賣る場合にも、又、「もの」を作る場合にも、書く場合にも、考案する場合にも、敎へる場合にも、働く場合一切に於て、斷じて資本主義社會の土盛りとして役立つてはならないと同時に、常に覺悟して、反資本主義への闘ひに具へて結束を固めたいものであります。





一九三〇年を送る

奥むめを

失業苦と、小作地獄と、飢と、彈壓と、ストライキと……死の如き沈默と嵐の鬪爭裡に一九三〇年は暮れやうとしてゐます。この陰慘なる一九三〇年に續く如何なる三一年を、私たちは迎へやうとしてゐるのでせうか。新しい年に於けるあたらしい鬪ひのための、迎年の武裝を急ぐ前に、私たちは、靜かに、過ぎし日の記錄を操つてみたいと思ひます。

不景氣は、文字通りに殺人的でありました。民政黨政府が高唱した緊縮政策は、善良な市民の生活を風靡して葱一本、一枚の紙に至るまでに徹底した、と見えましたが、實はそれは減らすだけのものは極度に減らして儉約してやつと糊口を立てゝゐた民家の貧乏生活を、更に一層切り下げても文句を云はない樣に自己肯定の名目を與へたにすぎず、彼らの目を現實のこの貧乏から蔽はんがための陋劣なる欺瞞政策にしかすぎなかつた事を今、はつきりと私たちに敎へて呉れた筈です。それ計りか途中で塗り替へた金看板産業合理化に依つて不景氣に依る負擔を民衆だけが幾層倍にも過重におはされねばならぬ破目に陷りました。即ち、資本家及び政府は不景氣に依る打擊と損失を成べく僅少に喰止めるために只事業の縮少整理、操短、生産減等を行つて多くの勞働者を首馘り、減給の浮目に泣かせました。現に益々多數の失業者が街頭に放り出されつゝあります。一方血を以つてする失業反對の抗爭は

日増しに激烈と執拗と凄惨を加へてゐますが。――（ほんとうの意味の産業の合理化とは、事業界のあらゆる無駄を省いて、ものを作る原料も、生産に要する時間も、勞力も、配給方法も、全てを合理的に整理して優良なものを極めて廉く行き亘らるやうにすることであるべきなのです、そのために最つさきに排除されなければならないのは資本家的利潤でなければならぬといふことは餘りに明らかでせう）

今日、わが邦の失業者はざつと百五十萬といはれてゐますが、その影に泣く家族の總數を加へたら尠くとも七百萬の民が路傍に飢えてゐるわけであります。この七百萬の飢えたる家族を抱いて母たる婦人は、將たして、如何なる嚴冬を迎へるでありませうか。

全て無産家庭に主婦たる母は、平常時に於てさへ、精神的に物質的に、勞務に於て、重すぎる負擔にあえいでゐるのにこの世界恐慌の深刻な嵐の中で、母の過重なる心使ひと激勞とムりが、てき面種族の上に――即ち次代の全無産者階級の生長の上に悲しむべき痕跡を殘すことがないか？

この憂ひに立つて私たち家庭婦人は、全無産階級解放運動の一翼としてあくまでも母と子を守るものゝ鬪ひに今、起ち上らなければならないと信ずるものであります。

次に農村に於て、私たちの仲間は、働いて尚且益々飢餓と絶望の深淵に墮ちつゝあります。作物は田畑に滿ち足り乍ら豊作飢餓に泣くといふ皮肉なる現象は、今日の資本主義的農業恐慌の特質であります。繭に於て、米に於て、蔬菜、果實、雜穀類、その他、農家の副業品や、出稼ぎ勞働に於てその收入は去年の五割以上七割八割減り、といふ恐るべき（米だけは事情が違ふが、手取りに於て生産費、勞銀にも合はないことは周知の事實である）現狀であります。（一貫目の繭を作つて肥料代や桑代や蠶具代や勞賃を差引くと三圓から四圓の損失一反歩の稻作で二十圓以上の損失、といふのであります）

而も農民に課せられてゐる税金や借金の利子は少しも下がつてゐないばかりでなく、日常生活に欠くことの出來ないいろ／＼な工業生産品――衣類や、味噌、せうゆや、油や、電燈、煙草、電車汽車賃、郵便電信代などが雀の涙ほど下がつたか全然下がつてゐないかであるのですから、産業革命を經

た今日の農村經濟が昔の自給自足の經濟に立ち返る術もない以上、農村をよみがへらせるのはいかなる道ぞ？まことに稀有の重大問題だといはねばなりません。

既に多くの農村に於て、借金棒引、稅金の免滯納、小作料免除、先生の給料の不拂等の申合せ實行と酒や煙草をやめやうとか、電燈をランプに代へやうとか、砂糖を入れない決議だとか、自轉車電車汽車の代りに徒步主義だとか、日常の些細な點にまで立至つた緊張振りでありますが、それらが嵩じて——貧窮の結果とは云へ——病氣に罹つても醫者にみて貰ふこともせず、姙娠出產に際しても產婆を雇はないばかりか不衞生の限りをつくして意にも介せず、子供の通學をやめさせ、娘を賣拂ふ等々、恐るべき不幸を惹起しつゝあります。今日のやうな成立ちの上に立つ社會で、生活苦の場合、最も直接に最も大きな不幸を負ふことを餘儀なくされる者は、婦人と子供であり、最初に而して最後の不幸を嘗める者も婦人と子供であるといふとの事實を知るべきであります。婦人と子供は、資本主義社會に於て、最も力弱い層に屬し、最も隷屬的な立場に、おかれてゐるのであります。

然し、農民がいつまで前述のやうな消極的な、受身の抗爭を甲斐なくつゞけた處で疲弊のどん詰りの農村經濟に輝しい明日の光明が甦らせるものでは斷じてありません。單に姑息なる改良と救濟とでは既に、もう手の下しやうもないのです今日の農村を救ふものは、農村を斯の如き窮狀に突き落したものは何であるか、はつきりと今日の資本主義社會の正體を見きはめ得るもののみがよく知る處であります。

限りのない、曇りなき眼で、都會に住む者も、農村に住む者も、家庭に於て、野良に於て、工場に於て、オフィスに於て、もう一度社會の實相を見直しませう。

來るべき鬪爭に備へて團結の武裝を固めよ。

時評

草本南枝

★相つぐ學校騷動事件

『日本最初の女子綜合大學』の理想のもとに鋭意準備をつゞけて來た日本女子大學は、打ちつゞく財界不況その他の理由のためにその實現の費用を得る途がたゝれ、遂に大學令による昇格の目的を達せぬうち廢止の運命に立至つた。

こゝに端を發して女子大學生の盟休となり、去る十月廿五日に一度學校當局が學生側の要求を承認した事によつて解決を見たが、十一月五日に至りこの解決條件に不滿を抱いた學生等は『現制度存續維持』の方針にたち歸つて

一、評議員を即時招集して大學部及び高等學部廢止の決議撤回

一、現在學校の會計報告明示

一、櫻楓會事業會計の明示

一、學生の學校行政への參與

一、汎女子大學昇格運動聯盟の承認

他六項を要求し、一方之を機會に女子專門學校の大學令による昇格運動を行ふため汎女子大學昇格運動聯盟を創立した。そして帝國女子醫專、東京女子醫專、東京女子齒科醫專、東京女子大、東京女子醫專、東京女高師他數校にメッセーヂを送り參加各校に聯盟の支部を設け文部省その他關係各方面に陳情して目的の貫徹を期する事になつた。

一方早慶野球戰切符問題に端を發した早稻田大學盟休事件及び引續いて明大慶應等にも、盟休或ひは動搖が傳へられ、更に一ケ月餘に亙つて盟休を續けてゐる東京女子齒科醫專は今なほ解決の曙光すら見えずわが學生界は異狀な紛亂と動搖をつゞけてゐるかに見える。

之等のいはゆる學校騷動について、學生側の要求を見る

に、注目されるのは一、學内自治確立の要求より一歩進めた學校行政への參與要求　一、諸會計の公開要求　一、女子にあつては女子教育の水平化が今なほ叫ばれねばならぬ事等である。

現在の學校が、よし大學令により如何に規定されようとも、既に高遠なる理想實現乃至は學問の蘊奥追求から轉落して國家により統制される營利會社となつた今日、飽く迄科學的に眞理をたづねる若き學徒が、學校行政への參與なくしては自らの使命を果し得ぬと信ずるに至つた事は當然と云はねばならぬ。眞理の追求は今や『大學校會社』の手を離れて學生の手に遷つた。一市民としての學生は現在ではたゞ『大學校會社』からその方法を買つてゐるに過ぎぬ學生が自らに忠實であらうとすればする程古き師弟の恩誼は棄てられ學校行政に強く自己の意志を反映させる樣に努められねばならぬ。

諸會計の公開要求は、即ち一部特權者の行動監視に外ならぬ。平等に集められた學友會費乃至運動會費その他の費用に對して如何に一般學生の受ける利益がゆがめられてゐた事か、むしろ今迄放擲されてゐたのが不思議である。

女子教育の水平運動こそ千九百三十年の日本にそゝりたつ悲しき記念塔であらねばならぬ。主張はもとより當然であり更に男女共學の實現へまで進めねばならぬが、同時にすべての教育の性別、階級別を拂ひのけて機會の均等化こそ代つて大衆の輿論として叫ばれねばなるまい。

從來學生は『學生の本分』について餘りにも說かれて來た『學生の本分』はたゞ單に學校内のみならず家庭内及び街頭その他一切に於てもつねに守らねばならなかつた。しかして之に反する學生は總て不良であり社會の指彈に屬する人々であつた。然し之は訂正されねばならぬ」學生自體の大部分は同じく無產市民であり無產大衆の一部である」會社員や役人が事務所内でのみそれである如く學生も亦學校内に於てのみ學生である。從つてあらゆる學生の學校に對する要求も亦この點から批判されねばならない。

學社反逆の原因は何か

無辜の同胞百三十餘名の虐殺によつて、更にそれが事あれかしと待ち構えてゐたジャーナリズムの報道と相ひ俟ち異狀なセンセーションを捲き起すと共に民族的義憤をさへ感ぜしめた――即ち臺灣に於ける霧社事件、兇蕃暴行事件である。

何が彼等をして斯くせしめたか？ 之が原因として臺灣總督府の發表、諸新聞の報道、臺灣關係者の談話等によつて見ると、

一、蕃婦關係
一、過度な出役强制
一、軍隊撤退の機を失した、技術的理蕃政策の失敗

等があげられてゐる。而して各新聞は事新らしく蕃人物語りを掲げ如何に彼等が手に負えぬ野蕃人で首切り（出草と云ふ言葉迄發明した）ばかりやり、知識が低いかと云ふ事を說いてゐる。かくて總督府の失政は政治的にせめられ、犠牲者には涙が流され、討伐に向つた軍隊にはその困難と勇敢がたゝえられてゐる。

蕃人は果してかくの如くにして暴行をなしたのだらうか。

蕃人が知識が低いと云ふ考へは訂正されねばならぬ。之が指揮をとつたと云ふ花岡一郎は師範敎育を終えた巡査であり、十一日付の東京朝日新聞の夕刊は蕃童公學校の卒業者一萬五千以上、蕃人のうちで上級の學校に進む者が增えて中には高等農林を卒へた者、醫專を出て醫者となり、母校で敎鞭をとつてゐる者など數多くある事を報じてゐる。

霧社は最も兇暴な蕃地であつたか。

否、かつてはそれは事實だつたが、現在では模範部落として內地人の見學の對象となり、常に理蕃政策成功の一場面として賞揚され數ヶ月前には駐在中の軍隊までが撤退したのであつた。

單なる蕃婦關係か。彼等には民族的嚴重な制裁があつて他國人の血が入るのを極度に迄排斥すると。然しながら玆に云はれる蕃婦關係とは內地人の敎員や巡査その他が權力によつて蕃人の美女を奪ひしかも歸任に際して弊履の如くに彼女等を棄て去つたためその家族及びその種族の憤激を買つたのではなかつたか、と見られる節がないでもないの

だ。

出役關係の强制、自分の畑を耕す事よりも日月潭工事その他に於ける出役を〇〇され、しかも蕃人なるが故に日當僅か二十錢である。(本島人四十錢)

更に內地人の巡査、郡守、教員等が〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇此の事件の原因をとく謎と云はねばならぬ。

徒らに彼等を蕃人と云ふをやめよ。治臺卅年、わが同胞は臺灣に於て〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。富源は開拓され莫大な利益は常に本國に移入されたけれどもその影に泣く何人の聲も聞えなければ幸福である。

實現された國民負擔の輕減

政府に於ては軍縮剩餘金による減税額を一億三千四百萬圓と決定、之を明年度九百萬圓次年度以後每年二千五百萬圓づゝ六ケ年に亘つて行ふ事に十一日の閣議に於て最後決定を見た。

行はれる種目は農村ブルジョアのために地租を、都市ブルジョアの爲に營業收益税を、わが國代表的產業である砂糖と織物の兩產業資本家に對して資本家本位の消費税減税を行つたのである。而して減税したのはたゞそれだけである。之が國民負擔の輕減を提唱し、總選擧の主題として國民大衆に公約した濱口首相が議會に絕對多數を獲得した後大衆に報ひた『善良なる意志』であつた、といへば餘りにも慨嘆に價する出來ごとではないか。

ほんの雀の淚程の減税を、然も資本家地主のサーヴイスのためにした濱口內閣は、餘分の軍縮剩餘金を果して何に使用したか。即ち來るべき帝國主義〇〇準備のため海軍省の要求を容れ復活要求の部分を加へ三億九千八百萬圓即ち減税額の三倍を支出してゐる。

『軍備縮少の精神は輝き全世界の要望と握手の袖に』締結され『國民負擔の輕減』と銘打つて示された軍縮條約は、遂にわが國民をして日英米三國代表のラヂオ共同演說により近代文明のスピード的勝利を僅かに覗ひ知つたのみで、依然として農村の負擔は愈よ過重に、都市の勞働者も亦急加速度的に貧窮化を加へ、而も世界各國のいづれよりも割

高な軍事費を脊負つて行かねばならぬ事を知らしめられたのみであつた。

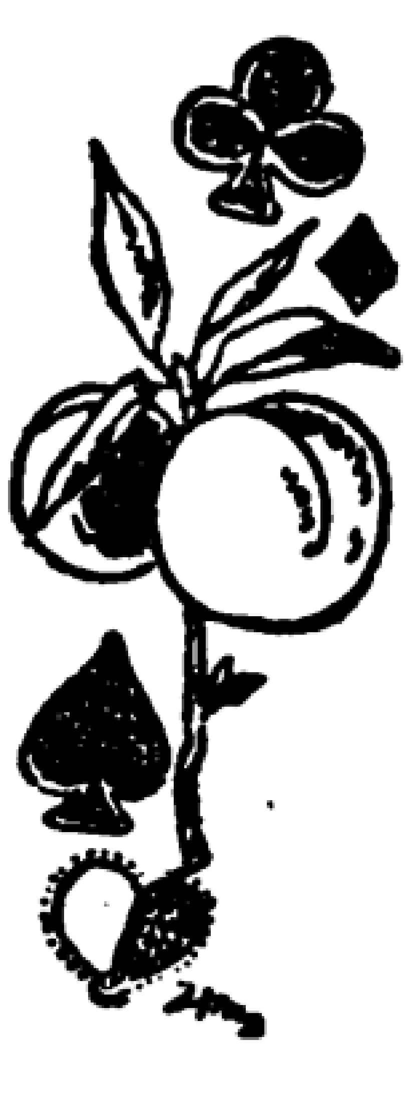
疑獄渦中の人々前大官連の登場

前文部大臣、前鐵道大臣、前朝鮮總督等々のかつての要路の顯官が何れも疑獄渦中の人として公明なる裁きの庭に起つた。ある人はごう然と肩をそびやかし、ある人は顔をそむけつゝ何れも最後の斷罪を待つべく餘儀なくされてゐる。

もとより彼等の罪は未だ確定的のものでない。然しながら彼等政治家が政友會と云はず民政黨と云はず何れも既成政黨の中心人物として活躍してあつた事は注目されねばならぬ。

提出された問題は既成政黨構成分子の墮落ではなくして既成政黨は斯くの如き墮落を敢てせねば、その構成を完からしめる事が出來ないのだ、といふことを事實に依り明示したまでである。彼等が公然なる事實――獻金――などとして認めた事も國民大衆の前には不可思議な醜惡なものとして映じたのであつた。そして國民大衆は、今はつきりと政治が何人のために爲され、そしてその背後には何が躍つてゐるのであるか？と云ふ事を知らしめられた筈である。

疑獄渦中の人々の登場を此の意味に於て國民は銘記せねばならない。而して昨日まで高位高官であつた人々、即ち政府當面の最高責任者であつた人々が瀆職に依る處の刑事被告人として其醜事實を天下に曝け出したこの現實より見て既成政黨と云ふ同じ一連の環に繋がる處の今日の政府當面の責任者、もしくは早晩それに取換るだらう處の反對黨の最高幹部に對して、更に進んで、それ等の人々の手に依つて行はれる政治運用の機關に對して、如何なる批判の眼を用意すべきかを忘れてはならないと思ふ。



獨逸婦人の運動

古瀬長榮

婦人參政權の解決した獨乙の婦人運動はどの方面に延びてゐるか興味ある問題であると思ふので以下少しく述べてみませう。

凡ての問題を仕事の合理化（産業の合理化）に結び付けてゐる獨乙に於ては結婚も合理化運動に捲きこんでゐるやうだ、婦人運動の重點を結婚問題に集めてゐる。

獨乙の婦人運動は架空的でなく、實践的に、獨乙式に根强く、研究と實行とを併行して行き、現實生活を基礎として婦人運動の第一線に立て人々が戰つてゐるのは感心される。

伯林市の婦人の數は、現在二十四歲以上四十歲迄のものは男の三倍に達してゐる、全獨乙國の數に於ても此れ以上になつてゐないが、此れに近いと思ふ、この數から見ても獨身婦人の多い事が判る、性問題に惱む人が如何に多いことであるか想像しても氣の毒な位である、私共が腰を下してゐる一般家庭に四十歲前後の所謂オールドミスのない家庭は殆んどないやうに、老いたる娘さんがゐる。

その原因は頂度相手となるべき男子が呪ふべき戰爭のために戰死したと云ふ最大原因があるとしても、だんだんとセチ辛くなつて行く世相のため、經濟力がないので結婚が容易に出來なくなつた、而してこの方面の結婚難が主となる傾向にあるやうだ。

結婚難……結婚難に注目して來たのが獨乙の婦人運動で、第一着手として結婚相談所（フアメーロンクビユロー）を設けた、結婚相談所の研究方面では、結婚の目的結婚は何故するのであるか、各自の身體に及ぼす影響、性生活、子孫の問題等を、それから離婚の問題、この結

婚はどうした點に離婚の原因があつたか、と云ふことを調査研究してゐる。

實際方面では、第一に經濟方面の相談相手となつてくれる、代議士であり、博士である有名な婦人運動者の何々孃といふた人々が經濟的に結婚の出來ぬ人々のために好伴侶となつてくれる。經濟的に夫婦生活が圓滑、豊かに樂しく、潤ひあるやうに出來るに何うすればよいか、女自身だけは、夫に寄食せずとも生活されるやう、仕事を探してくれる、内職で進む人には内職を授ける、この運動が開始されてから、男の失業者が鼠算的に上昇して行くに係らず、女は非常な就職率を示し男の領域まで侵してゐる有樣である。一九二九年末現在の統計に依ると男の失業者百七十三萬人の激增であるが婦人の就職者、職業戰線に進出した者は十七萬人となつてゐる。

最も注目すべき相談は性生活であらう、しかもわいせつでなく、眞劍に檢討されてゐる。エルデの『性愛結婚論』などが主體となつたらしいが夫婦生活中、性生活はその主たるものであることを主張してゐる。離婚の問題夫婦不和の問題、凡て性生活に結び付けてゐる、その原因を尋ね、對策を敎へてくれる、專門の醫師がゐて健康診斷や配偶者の適否相談などもやり、詳しい親切な相談相手になつてゐる、未婚者に對しては身體と配偶者の適否を矢釜しく論じ、又矢釜しく敎へてくれるやうだ、性生活の技巧等も相談になり、この點に非常な研究を進めて家庭不和や結婚の欠伸に入つた夫婦に丁寧に敎へてくれると云ふ徹底さはどこまでも獨乙式であることに嘆稱せざるを得ない。産兒調節に就いては婦人の常識となつて一般家庭人で洗滌器を設けてないのがない程普及してゐるから、左程力を注いでゐない。が家庭の圓滑、生活の豊、僅かの子供でよい子孫を得ると云ふ觀點から強く主張し、相談相手になつてくれる。産兒調節相談所は伯林市だけに市立のものが二十一あるが、この方面に行き憎い若い夫人や娘さんなどは婦人運動者の結婚相談所を利用する者がだん〳〵と多くなりつゝあるそうだ。

斯ふした結婚の出來ぬ人々に結婚をなさしめ、離婚する人々の離婚を喰ひ止め、不和の家庭に光明を與へる。これが獨乙の婦人運動の大部分である、日本などに於てもかくした傾向に向ひつゝあるのが事實であるから、結婚問題を學問的に、實際的に考究し樂しい夫婦生活を考へてやるべきであらう。（をはり）

ソヴエト・ロシアの托兒所

秋田雨雀

ソヴエートロシアに於ける托兒所は、その數から云つても設備から云つても世界の托兒所の中で最も優れた位置を占めてゐる。托兒所の仕事は悉く國家の手によつて管理され、事業に從事する人々は皆專門家である。

都會の托兒所は概して職業組合に附屬していてその職場に近い所に設けられてゐる。その建物の多くは、昔の貴族やブルジョアーの邸宅の共有物となつたものであるから、設備の點では實に立派なものである。そして托兒所の仕事に從事する人々の大部分は、はつきりしたイデオロギーの上の教育を受けて居る人々であるから、仕事に對して非常な熱情をもつてゐると云ふ事が感ぜられる。その中でモスクワの製菓工場に附屬した托兒所は、最も完備したものであつた。三名の醫者、十名の看護婦、二十人以上の保姆が子供達の世話をして居た。托兒所の兒童達に對する注意がソヴエートロシアの教育の一番基本をなしてゐるのであつて、生物學的智識、極く初步的な社會教育、勞働教育と云ふものが施こされて行くがこれが後の少年團即ちピオニール（先驅少年團）の教育方針である所の宇宙教育、生物學的教育、勞働教育の三つの教育方針の豫備をなすものである。

次にソヴエートロシアの農村托兒所は益々數が增えて、農村に於ける、女性の勞働を自由にしようとしてゐる。農村の托兒所は都會の托兒所と違つて、二つの目的を持つてゐる。一つは農村の幼兒の哺育であり、一つは

ソヴエト•ロシアの託兒所

農村に於ける無學者撲滅運動の仕事を手傳ふ事である。であるから農村の托兒所の仕事をする人々は、大抵女教師であつて、子供の事に關して絕えず農村の家庭を訪問し、父兄との交渉を深くして一日も早く無學者を撲滅せんとつとめて居る。農村の托兒所は都會の托兒所とちがつて、夏期の三ケ月間だけ開かれるものであつて、仕事は仲々忙しいのである。

なほロシアでは、次の様な重要な法律で女性保護の徹底を期してゐる。

一、姙婦は夜業及び過重の筋肉勞働より絕對に解放される。

二、筋肉勞働に從事する女性は出産前後八週間づゝ即ち計十六週間靜養する事が出來る、そしてその間給料の全額が支給される。

三、知識的勞働婦人は出産前後六週間づゝ即ち十二週間靜養する事が出來る、そしてその間給料の全額が支給される。

四、出産後母親は平均賃銀の五十パーセント(即半額)の勞働保險金を支給され、且九ケ月間幼兒保育料として勞働保險の割増金を支給される。

五、自己の母乳によつて兒童を哺育する母親は九ケ月間、二時間の勞働の後に三十分の休養が與へられる。

あの欅のやうに

岩井いさを

あの欅をごらんなさい。世の母よ
なんと高く、眞直に、大空に向つて
揚々と、のびてゐることでせう。
あのやうに人の心も、眞直に
ほがらかにこそ、のびてゐたら
どんなにうれしいことでせう。

一言口をきくさ、それはこにくらしい言葉であつた
何かにさわると、それは必らず惡いことであつた。
驅け回るとそれは必らず人のさまたげとなる
さうした子供を知つてゐます。
その子はさう〳〵默することしか出來なくなつた
身動きすることが出來なくなつた
じつと座つてゐるといふ
さうした子供を知つてゐます。

小言も時にはよいでせう。
鞭も時にはよいでせう。
しかし、一度そのまへに

あの欅をごらんなさい。母上よ
なんと高く、眞直に大空に向つて
揚々とのびてゐることでせう。
あのやうに、人の心も眞直に
ほがらかにこそ、のびてゐたら
どんなに、うれしいことでせう。

母子扶助法とは何か？



無產婦人の間に、母子扶助法要求の聲が急激に高まつて來た。

母子扶助法とは何か？

これを簡單にいへば、一家を支へてゐる父親が死亡したとき、行方不明になつたとき、失業したとき、其他それに似た不幸に遭遇して母親が、貧しいために子供の養育費に困つてゐるとき、國家がこれに一定の補助を與へる法律をいふ。

母子扶助法を最も早く試みたのは北米合衆國のミゾリー洲（一九一一年六月實施）であるが、次いで同年七月イリノイス洲に於て『親に對する給與金法』と稱する、より包括的な法律が實施された。

更に一九一二年にはニユーヂーランドに於て、一九一三年一月にはコロラド州に於て、一九一四年にはデンマークに於て、一九一六年にはカナダに於て、夫々母子保護に關する法律が實施された。なほ現在合衆國に於てこの法律を實施してゐる國は、四十八州中三十九州の多數に及び、其他合衆國の屬地たるアラスカ，ハワイに於ても同法律が制定されてゐる。且つ殘餘の九州中五州は目下この法律の調査に着手しつゝあるといふことである。

他方母子扶助法といふやうな特別の法律形式に於てではないけれども、『母親補償法』『寡婦年金』『母親年金』等の母親年金法の形式で母子保護に關する法律を實施してゐる國は、獨逸、フランス、英國、ベルヂアム、スイツツルランド、ロシア，スエーデン、ルーマニア、オランダ、ノルウエー等の多國に及んでゐるのである。

翻つて我國の現狀を觀ると、現在までのところでは、母子保護に關する法律は殆んど實施されてゐない。唯だ僅かに去る第五十六議會に於て、田中政友會內閣の手によつて通過された救護法の第一章にある、救護をうける者の條項の中に十三歲以下の幼者と姙產婦が

婦人界ニユース

洋モス女工はくたばらない
會社側から不當解雇を命ぜられて爭議に入つた東洋モスリンの女工數千名は、七十五日の長いストライキをつゞけて來たが、警視廳官房主事の調停に依り解決に步み寄つたところが、復職女工百名、爭議の同情金支給二千圓也では未だ、折合ひがとれぬといふて强硬なる抗爭をつゞけてゐる。女工側の要求は同情金八千圓也を支給せよといふのである。

女學校に盟休頻々　日本女子大學の盟休は、近い將來に、大學令に依る女子大學に昇格するといふ口約の下に生徒を集めて來たにも拘らず、實は、適用をうくべき大學令さへないのだといふ事が分り、又、かねて募金中だつた昇格資金の集りも捗々しくゆかぬので、大學の夢はむなしく泡と消えたことから學生が動搖して來たのであつた。

東京女子齒科醫專では、教授十名を突如

含まれてゐるだけである。

それも、法案だけが議會を通過したといふのであつて豫算がないとか何とかでいつ實行されるのやら覺つかない限りであるから、事實に於ては母子保護に關する法律は一つも實施せられてゐない結果となつて居る。また母子保護の問題は救護法の一部に於て取扱はれるべくあまりに重要問題である。且つこれは救護法の如き、上から恩惠的に與へられる慈善的性質のものではなくして、國家的義務としての社會立法の範疇に屬すべきものであるから特に母子扶助法といふやうな獨立の法律に於て取扱はれるべきものである。

法律制定の理由

母子扶助法の制定の理由として先づ第一に擧ぐべきは、夫に死別した妻、或は精神的身體的に不具廢疾となつた夫を有する妻が、子供を抱へながら一家の生計を支へて行かなければならない場合に、母親をして生計の維持と子供養育との二重の負擔を免れしめ、安心して子供の養育に盡すことの出來るやうに補助するのである。

母子扶助法をして、すみやかに之を實現せしめよ。

婦人は團結してこの要求實現のための闘爭に參加すべきである。

第二の理由は、從來かうした場合に於ける子女は育兒院、孤兒院等に引とられたのであるが、かうした救濟機關に引取られた子供は割合に死亡率が高く、また母親の慈愛深い手によつて育てられることがないので、子供の精神に及ぼす影響は甚大であつて、色々の弊害を起してゐる。そこで貧困な家庭にある子供に精神的社會的打撃を與へず、子供は子供らしく母親の手許で自然の生長を遂げさせたいといふ心である。

更に第三の理由としては、最近不景氣の深刻化と共に失業者は激增し、その結果として兒童殺し、親子心中の數は益々增加しつゝあるが、單に失業による生活難のために、多くの家庭が破壞され、多くの幼き生命が若芽の中にむしりとられてしまふといふ悲劇の續出を防ぐために、斯くの如き家庭に對して母子扶助を與へるべきことは、我國の如く失業保險、失業手當等の實施せられてゐない國に於ては最も急務であるといふのである。

最後に第四の理由として子供に對する觀念の變化を擧げればならぬ。從來までは子供は

解雇したことから初まり、名和校長へ辭職勸告、本年度學友會々費一千五百圓也即時引渡請求を提出してたゝかつた。

救護法を早く實現せよ　といふ全國大會　時節柄救護法促進の要求は全國に高いのであるが、大藏省の査定で又々豫算を削られ來年度の實施も絶望となりさうだといふので全國の方面委員社會事業家一千名が集つて促進運動を開始した。わが國の母子扶助の精神は救護法の一部にわづかに含められてゐるのである。

無產婦人同盟大坂支部生まる　全國大衆黨を支持する婦人に依つて無產婦人同盟の支部が大阪に出來た。△無產婦人を抑壓する諸法令の撤廢△婦人の結社權獲得△無產婦人保護法を制定せよ△男女勞働の性的に依る差別撤廢△無產婦人母子扶助法獲得等をスローガンとして盛んな大會を催した。

婦選の陣容ます／＼闘ふ　わが國の婦人參政權運動はずつと白紙主義で戰つて來たが、いよ／＼公民權の實現近き曙光がみえてから急に賑かに展開した。

親の所有物であるといふ觀念があつた。然し子供の社會的重要さが認められ、國家は種々の方面から兒童保護の道を講ずるやうになつた。同時に親が家庭に於て育兒に從事する事は敎師が學校に於いて兒童を敎育する事とその職務に於て少しの差異もないことが一般に認められて來た。唯だそこには有給であるか無給であるかの差別があるに過ぎない。そこで親が經濟上の關係から子供を養育することの出來なくなつた場合には、その育兒費を國家が負擔することは當然といはればならぬ。

扶助料受給者の資格條件

各國の母子扶助法を通じて扶助料受給者の範圍を大別すれば、貧困のため兒童を扶養し能はざる或る種の母のみに限るもの、父若しくは母の何れをも扶助するもの、他の親族父は繼母にも及ぼし、或は他の保護者をも包含する立法例等がある。

先づ適用の範圍を母のみに限る立法例に就いて述ぶれば、第一には本法の適用を寡婦のみに限るところがある。――米國ニユーヨーク、他八州とニユージーランド、デンマーク。

次に寡婦のみに限らず、夫が身體的精神的に不具廢疾となつた者の妻たるべしとするもの――米國イリノイス他十州とアラスカ。

夫が在監中の者をも含むのは――米國アルカンサス他十八州とアラスカ。

また夫に遺棄せられた妻に扶助を與ふる立法例があるが、その中遺棄が永久的なる場合を規定するはアルカンサス。遺棄が半年間に及びたる場合――ウイスコンシン他二州、等

離婚したる妻に扶助を與ふるはアラスカ、ミゾリーその他二州。州が離婚を許可せる一年後はネブラスカ、南ダコタ。

母子扶助金を公生兒または結婚後緣組みしたる養子養育のために支給すと規定するはデンマーク。私生子を除くと規定するはニユージーランド。特に私生子の母をも救援するのがハワイ、ミシガン及ネブラスカ。

更に姙婦をも扶助する立法例があるが、その中分娩前後三週間に限るのはミゾリー州。一人以上の子を有する爲扶助の必要ある姙婦――ペンシルバニア。單に姙婦と規定するものはコロラド。

以上は扶助を母のみに限る立法であるが、母以外の兒童の扶養者、若くは保護者を扶助するものもある。

父若くは母の何れにも適用することが出來る、と規定してゐるのはコロラド。母其の他兒童を保護する女性の親に扶助を與ふるはフロリダ。母、繼母または祖母としてゐるのがミネソタ。母、祖父母または兒童の保護者と

井上秀子山脇房子吉岡彌生女史らの統率するブルヂョア婦人團體は新らたに婦人同志會といふ御用政治團體を組織して議會に突進する陣容を固めたし、無産婦人團體だけの共同鬪爭も、社民黨と全國大衆黨系婦人の間に出來た。

母子扶助法獲得の共同鬪爭

これも無産婦人團體の共同委員會の手で大々的に鬪はれることになつた。

友愛結婚と産兒制限の講義　なしたといふ廉で免職、津田英學塾の講師木村松代氏は社會學の講義中で、近頃問題になつてゐる友愛結婚のこと産兒制限のことに觸れたといふので勸告されて辭職した。

一部生徒の間に留任運動が起つてゐるといふ。

避姙法の取締りを嚴重にするといふ內務省案は延期された　産兒制限の要求が強まつたのに乘じて危險な器具や藥品を賣る奸商相談所が殖えたので、內務省は嚴罰主義で臨むことになり問題を起したが、反對運動が效を奏したか、お流れになつた。

してゐるのがウイスコンシン。

受給兒童の年齡

何歳迄の兒童に對して扶助を與へるか、といふ兒童の年齡に關する制限もまた極めて重要な條件であるが、兒童の最高年齡を十三歳と規定し、但し兒童が病弱若くは勞働不能なるときは十六歳まで延長することを得るといふ條件附の規定をなしてゐるのは西ヴアージニアである。また十四歳と規定するは米國イリノイス他九州及びデンマーク、ニユージーランド。給與最高年齡を十五歳となすはアチカンサス他五州。十六歳アリゾナ他二十州。男十五歳女十六歳と規定するはカナダ、アルベルタ州。十七歳はアラスカ、ミシガン及インデイアナ。

その給與額

扶助料は何れの國に於ても殆んど皆現金をもつて支給されてゐるが、たまには物品をもつてするところがある。またその給與額は、豫め法律に最高額を規定するものと、行政機關の任意に決定するものとがある。

またその法定額は一日をもつて定めたものと、一週間をもつて定めたものと、一ヶ月をもつて定めたものさがある。日極めのものは米國インデイアナ州の五歳未滿の子供には一兒一日六十仙、五歳以上の者には一兒一日五十仙といふ規定である。週極めのものは一兒一週二弗と規定するアイオワ州・一兒一週三弗ミシンが州ン、また三弗五十仙セントルイス等がある。更に月極めではニユージアージイ州の一兒九弗、二子に對しては十四弗、三兒以上は一兒毎に四弗を加ふと規定されてゐるなほ一家族に對する最高額を定めてあるものがある。例へばイリノイス州の法律には一家族に對して一ヶ月六十弗を超ゆることを得ずと規定されてゐる。

カナダに於ては一兒に對して一週三弗の規定をなすもの(サスカツチワン州)さ、家族の必要に應じて支給することゝし、法定額を規定しないものへアルバータ州及びマニトバ州)とがある。

ニユージーランドに於ては一兒に對して最高額一ヶ年十二ポンド、更に一兒を加ふる毎に六ポンドまでを增加することを得る。而して一家の收入の如何によつてこの金額は增減せられるのである。

デンマーク於ては子供の年齡に從つて支給額を異にしてゐる。例へば一九一八年から一九一九年に亘る會計年度では、一ヶ年の支給額は最高を四歳未滿には百五十クローネ、十二歳未滿には百二十クローネ、十四歳未滿には九十クローネを支給すと規定されてゐる。

日本に最初の醫學博士　東京女子醫專を卒業した西村庚子(三二)氏はかれて帝大醫學部解剖學教室で研究中であるが、「邦人聽器の形態學的研究」といふ論文で博士號をえた。

爭議の鬪士が百三十五尺の煙突の頂上から赤旗を振る　富士紡績工場でも減給馘首反對のストライキが初まつた。その爭議團をへいげいして爭議團の幹部某は、數日分の食糧と赤旗をもつて同工場の煙突によぢ上り、すゝだらけの眞黑になつて、旗を振りく『結束しろツ!!』と怒鳴つてゐる。百數十時間の滯空新記錄を作つてなほ降りて來ず、地上の者の氣をもませてゐる。

〰〰〰〰〰

林町保育園の母の會結束す　婦人セツルメント内の託兒所で園兒の母の會が出來たおひ〱と生活改善、無產者解放のために結束をかたくしてゆくはずである。

健康相談所の意義

原澤仁齋

或る名士のアメリカ歸朝談に、『アメリカ婦人の脚は、鶴の脚のやうですつきりとして居るが、日本婦人の脚は、スカートの下に練馬大根を並べたやうで、如何にも其の醜さが目につく』と云ふ事があつたが、鶴の脚の纖弱さよりは練馬大根の力强さに頼もしい感じがするのである。日本でも一世紀前には、柳腰美人を貴んだが、今のスポーツ時代の美人型は、清新の色漲つた豐頬の健康美人を要求して居る。美術的方面から見てもなだらかな曲線美を持つ肉づきのよい婦人が骨ばつた屈曲を持つ婦人よりも美しく思はれるだらうが、醫學的見地からしても、是非榮養佳良の肥滿した健康婦人を欲するのである。封建時代の門外不出の婦人ならばいさ知らず、男子と共に社會的に奮鬪する現代婦人には、鶴の脚だの柳腰は禁物だ。

婦人は人の母となるべき運命を持つて居る。子供を教養して立派な國民を作る責務を擔つて居る。國民の素質向上は母である婦人の體質と教育の如何によつて上下する。

日本人現在の罹患率死亡率を見ると、肺結核でも腸チプスでも其の患者數の多い事は、何れの文明國にも引けを取らない。殊に、死産や乳兒死亡率の多い事では、誰もが驚かされるのである。

然し、此等の望ましからぬ事も婦人の健康增進と衛生知識の涵養とによつて、かなりの程度まで低減される事が出來るのである。體質健康な婦人は自身が病氣に罹らぬと同時に、腺病質や滲出性體質の病弱兒を産む事は少く、從て其の子供が成人して肺結核其の他の病に冒される事も稀になり自分の目的に向つて活動する事が出來るのである。母の健康と攝養とによつて死産や乳兒死亡を減少させる事は當然の結果である。婦人の健康に加へて、衛生知識の養成に勉めたならば、萬一薄弱兒童があつた場合にも、よく之を保育して、健康人に育成する事が出來るし、色々な病氣も未然に之を防ぐ事が

可能である。又健康兒は鍛錬によつて益々强壯な成人とすることが出來る。

治療醫學は今日相當發達して居るが、醫學の眞髓たる豫防醫學に於ては、まだ不滿な點が多々ある。殊に後者は醫學者のみが心得て居ても大した役に立たぬもので、一般民衆が此の知識を養つて、然るべき專門指導者の指揮に從ひ一定の目的に進む時に初めて美しい成果を得る事が出來るのである。

國民衛生思想の發達は、最近十年間に著しいものがあるけれど、まだ、決して滿足すべき處にまでは到達して居ない。呼吸は何處でどんな作用に依つて行はれるか、消化作用の機轉は怎うか等と云ふとしば〱解らない人がある。自分の身長體重體溫脈搏數呼吸數等が、健康時にどれ位あるか知らない人は可なり多からうと思ふ。健康時の狀態が解つて居つて初めて、病氣の變態が明かになるのである。それも著しく變つて居れば、平均體溫や平均脈數が知れて居るから、之に比べれば異狀があるか怎うかは、解るのであるが、輕微な變化の起つた時には、發見が困難になる。今、健康時の體溫が甲は三十六度二分、乙は三十六度八分あるとして、甲が風邪を引いて、六分體溫が昇つたとすると、三十六度八分となる。若し平常時の體溫を知らないとすると、健康な乙の體溫と同一だし、殊に、平均體溫三十七度より二分少いのだから、甲の體に異狀のある事は解らない事になつて、健康な積りで、日常の仕事に從事するのである。之も通常の風邪等では、問題はないが、肺結核の初期等には、よく此の微熱が出るもので此の輕い發熱に氣づかず、療養を怠る時は、知らぬ間に病は進行して病氣に心づいて治療を始める時は、旣に其の効を收める事が出來ないまでに增惡して居る事が屢々である。脈搏や體重でも之と同樣な關係を見る。だから健康時の身體檢査は、病氣にかゝつた時の診察以上に必要な事で、少くも每月一回位の健康診斷は、受けたいものである。殊に日々職業を持つて萬一病氣になつても療養する暇を持たない人には之が緊要である。

此の意味に於て、此の頃、各所に健康相談所なるものが出來、一般の健康上の相談なら何でも喜んで應ずる事になつて居ることは喜ぶべき現象である。相談所を十分活用させると否とは一般人士の考へ一つで、民衆が自分の健康に無頓着で病床に臥す樣になつて、初めて、醫の門を訪れる樣では、相談所の必要を認めないのである。一般社會人の衛生思想の發達や衛生相談所又は結核早期診斷所等の增設によつて、疾病を少くし體力の向上を圖つて、十分意義ある活動により、人類の福利を圖る事は、私共の希望する處である。

今度林町の婦人セツルメント內にも健康相談所が出來て、一般の相談にあづかる事になつた。諸兄姉の御利用を御薦めする次第である。

托兒所の感想

山川菊榮

『婦選』十一月號に出た宮川靜枝氏の『物いへぬ子供達に代りて』と、兒童保護施設に關する座談會は、幼兒をかゝへて仕事と病氣の板ばさみになつてゐた十幾年前の自分の經驗を想ひ起させて、今更に現在さういふ境遇に居られる多くの母親達の上を思はせずにはゐなかつた。

宮川氏は貧兒哺育を目的とする二葉保育園に、仕事の都合上餘儀なく乳兒を預けられ、百日咳のためにその生命を奪はれたお氣の毒な經驗をされた方で、それに關聯して、保育園の不注意不行届きと思はれる點を、遠慮がちに、しかし誠意を以て指摘せられてゐる。

座談會では宮川氏の不滿に對する二葉保育園長德永氏の感想や、同じ樣な社會事業關係者が各々意見を述て居られる。

思へば十年餘りも前になる當時隨分身體が惡くて醫者から絕對安靜を命ぜられ、大抵寢床の中で原稿書きをしてゐた私にとつて、乳兒の哺育はかなりに過ぎた重荷であつた。錐でもまれるような肋膜の刺痛を、背と胸と兩方に氷袋をあて、ずり落ちないようにしばり



婦人セツルメント内託兒所の子供の晝食振り

つけて、遣ふようにして子供の世話をしたりした。大正八年頃のことで、女中拂底の折柄、警察の目はあり、中々私のところへ來てくれる若い娘さんはなかつた。或時は靑年に臺所仕事をして貰つた。水汲み洗濯のすゝぎは主人にして貰つたそれでもよろ／＼歩きをする子供の世話だけが、どうしても私の手に餘つた。

私は女學校時代のよしみで德永さんの幼稚園に子供をお願ひし、そこで自分も休み且つ書くことにしようと思つて或日出かけた。暑い／＼八月の日だつた。大森の、それも驛から十丁餘りもあるところから、子供を乳母車にのせて驛まで、それから省線で品川で乘かへ、新宿まで行くのは、途中だけでも大變だつた。

その頃はまだ托兒所はなかつたので、子供はみな四五才以上學齡に近い腕白小僧が多かつた。私の子供は滿二才未滿であつた。彼等は埃の立つ炎天の下を裸足で走りまわり、ポンプで井戸水を汲み出してはガブ／＼やつてゐた。疫痢などもはやつてゐる時分で、一寸こわい氣がした。

『大丈夫よ、この邊の子供みんなあれで丈夫に育つのよ。あなたみたいにいつたらこの子供たちはうるさがつて來なくなるわ』と德永さんは、冷や／＼してみてゐる私を見て、快活に笑つた。實際さうでもあらう。家庭の習慣と全然違つた習慣や作法を强制することは、たしかに有難迷惑なことでもあらう。しかし又一面には、田舍や野蠻人の生活におけると等しく、さうした生活に堪へる體力を持つ者のみが生殘つてゐるので、彼等の間における死亡率の高さなども想ひやられた。

私は丸一日ゆつくり子供を遊ばせ、自分も休ませて貰つて歸途についたが、往復の疲勞だけでも參つてしまつたし、一日の經驗の結果、やはり他に方法を求めるほかないことを感じさせられたので、そのまゝになつてしまつた。

私が二葉保育園を訪れたのは一再に留まらなかつた。そこを訪ねるといふより、德永さんの所へ遊びに行く每にその內部の樣子は見てゐたのだつた。しかし學生時代の私には母として、吾子を手づから育ててゐる者の目は與へられてゐなかつた。私はたゞ無心に見てゐた。そしてその周圍をとりまく貧困な家庭の生活に比べて、淸潔で整頓した保育園の生活を祝福する氣持でゐた。

多分宮川さんに保育園へ子供をあづけることをすゝめられ

た方にも、宮川さん御自身も、大體、學生時代の私と同じように、智識階級の一視察者の氣持で、園の事業を視察され、それ故にこそお子さんを托されることになつたのだと思ふ。母として園兒の生活を見た私は、自分の子をそこに托することは躊躇せずにゐられない多くの姿を見たのである。

ところが實際には、園に收容される階級の子供と、宮川さんのお子とでは、全然環境を異にし、生活程度を異にしてゐた。生來餘り御丈夫でないらしかつたといふ宮川さんのお子さんは、その子供達の家庭に生れ合せたら、園の生活を共にせられずとも、同じ運命に陷られたのではなからうかと想はれる。

保育園の生活は、最も生活標準の低い家庭の子供には、皮想的な參觀者の目に關聯するところのないものを與へてゐるであらう。

たしかに彼等は露地や店先で棄兒同樣に放つておかれるよりは、良い生活を與へられてゐるにきまつてゐる。しかし今少し餘裕ある生活をする家庭の子供をあづかるには、現在の保育園は、その標準がすべて低きにすぎてゐるのである。

宮川さんの御不幸は眞に御同情に堪へない。しかしこの種の貴重な犧牲によつて現在の保育事業の根本的な缺陷が曝露されることは、未來の子供達のために決して無意味でないと思ふ。

○

今日の社會は私有財產の社會であり、個人主義に基礎をおく社會である。衣食住のすべての問題は個人的な方法でのみ解決されねばならぬ仕組となつてゐる。それがたま〳〵餘儀なく或種の公共的施設を行ふ場合には、極貧者を目標とした最低の水準に留まるものであるから、それ以上の生活をするものには不適當であることが多い。

例へば同潤會のアパートとか、公設食堂の食事などは、保育園と同じような性質のものであるから、もう少し高い程度の生活標準を維持し得る者には、利用のできぬことが多い。

現在では、子供を托兒所にあづけてまで、母親が營利的な職業に從事せねばならぬのは、よく〳〵貧しい階級に多く、それ以上になれば、何とか他の方法で子供を育てるか、母親が仕事を捨てるかして間に合せて行く。だから原則として、

托兒所といふものは、貧民の子供相應の待遇しか與へられぬ仕組になつてゐる。

しかし經濟事情の變化は、最下級の女子筋肉勞働者のみでなく、宮川さんのような中流階級の職業婦人まで、子供を托兒所へあづける必要を漸次増大させてきてゐる。然るに托兒所は全く違つた階級の子供のためであつて、さういふ生活に堪へられない宮川さんのお子は、その育て方、生活方法の相異のためにお氣の毒にも犧牲となられたのである。

一部の母性論者は、子供は母親以外のどんな機關の手にでも十分な注意は受けられぬと主張する。遺憾ながら現在の社會、その個人主義的な組織の内部では、このことは事實である。私自身、自分の私生活では、たえずこの種の矛盾に惱まされてゐる。殊に病弱な者ほど、現在の社會での公共的、團體的な生活に適應する能力が少いので、一層その感を強くする。

幼稚園や小學校は傳染病の媒介所となる。しかしそれとても皆が皆、その犧牲となるのではなくて、弱い子供だけが犧牲となるのである。學校の衞生的設備や注意の行屆かぬことも、強い子を持つ親には問題でない。又一般の生活標準の低いところから、餘り行屆いた注意を要求することは贅澤とか却つて子供を弱くするとかいふことで一笑に附される。弱い子供を死なした親は、弱いから死んだ、弱いのが惡いといふ單純な諦らめに慣されて、弱い者を強くする方法の到らなかつたことを考へない。

死なずともよい何萬の子供が、この種の不注意と無頓着の犧牲となつてゐることであらう。宮川さんのお子はそのうちの一人にすぎない。公共的施設といふものが、慈善的、お情け的なものでなく、その社會の最低の生活標準を目標とせず最高生活標準を目標とするようにならなければ、この種の犧牲はその數を減じないであらう。即ち社會が全く異なる基礎の上に組織し直され、すべての母親が、安んじて吾子を托し得るような公共的設備が、今日の救貧施設に代る時代とならなければこの種の悲劇はその跡を斷たないであらう。

生活の中へ

後藤郁子

（中略）子供はたのしいより苦しいもの、せつかく學校出たかとおもへば、父も年とり親子失げうの世の中。金持の金はくさるほどあつて、一方ではかせいでもかせいでも貧ぼう人はふえるゆえ、社會しゆぎとかの出きるのも無理ありませぬ。わたくしも近ごろ目だつて白がになり、眼がだんだん悪くなりますので、ご送金の二圓で思ひきつてい者に行つたところ、えいよう不良とくわ勞だとしんだんされましたが、かんじんのちりようがつゞきませぬ。子供九人のうち四人はどうにか大きくなつてくれましたが、小さいのはこの先どうなるやら。

△ △ △

母よ
あなた達は子供について、わづらはされすぎなさる
かへりみればなんと限りなく熱い母の胸
それは胸痛く、涙にじんでも

ブラジル行きの船にのる夢を、いまも時どきみるとい
ふ老ひたる勞働者
父よ
どこへ行つてどうなるものか

資本家にはさく取のみ
わいろや高利貸や傳統で、たかくトマつてるやつを
私達は憎んでゐる
白日にさらす日が來る！

おしかぶせられてゐる
封建的家族制度の煩雜な經濟と道德の陰うつをはねか
へし

ヨイトマケのひと達のやう、元氣を一つに
新しい社會の建設へ
そう、女も
力を合せよう

チャンバラより『宇宙の驚異』の
科學映畫をよろこんだあなた達に、ロシアからの
『トウルクシブ』を見せたら！
そこに明るく躍動してゐる
自分たちの親しみふかい世界を見出すでせう

日常の生き生きしたものが
ただ、迫つてくる。――
穀物と綿花と水と太陽
風と機械と働く人間
自然を刻々開拓してゆく美しさが
あの鐵道施設の苦難が
正しい勝利の闘ひが……

矛盾のまへには蹶起する！
下積みになつた者が礎石になる
離れぬ誓ひはプロレタリアの名で
×旗の下に――

母よ

武内利榮子

泪も眞實もが
うちまかされる虚もあらう
四人の孫等にとりまかれた
疲れにゆがむ老母の寢顔よ
ほしいかのやうな
あなたの餘生に

貧しい娘の眞實が
温かい肩かけになる日のあらう事を
あなたは御存知か？

十錢のあやめの袋の底にのこる
味氣ない粉たばこには
なりたくもない娘であること
をあなたは御存知か？

白髮になつたその頭上で
貧しい娘が
うちかつた凱歌の旗を
ふりかざす日のあらうことをも
あなたは御存知だらうか?!



雨上り

楳尾

「三チャンのかあや、今日はどんたくかい？」

「インや、今朝ふつたんで半ちくになつちやつたんだよ。おまいんどこの父ちやんは？」

「久しぶりで仕事にありついたのさ……でも安いんだよ、ひとつ頃の事思ふとばか〳〵しいや、オヤ三坊がないてるよ」

「かまあもんか、泣虫め。下に居ればヒイ〳〵泣てばかりいやがるんだ。ひつちよつて仕事に行つて居ればおとなしいんだけれど」

「その筈さ、腹のなかからヨイトマケの聲をきいていたんだもの。

何故こんな大不景氣になつたか（つゞき）

——日本經濟の三大弱點——

高橋龜吉

婦人經濟講座

三大不安がある

今のやうな不景氣になつたに就てはどういふ點が問題であるか、之からさきどうなるか、といふことを考へる時に吾々の目につくべき點は三つあると思ふ。

第一は深刻な不景氣がまだ〳〵續いた場合失業者は勿論、農民や中小商工業者がじつとして居られるかどうか失業者は解雇手當を貰つて、三四ケ月はなんとか食つて行けるが半年以上は到底堪へ忍べぬ。食へなくなつたらどういふことをするか、蠶は恐らくは下がるばかりであらうが、農民はそれではたしてやつて行けるかどうか、行詰つてゐる中商工業者はこの暮れの決算までやつて行けるだらうか、今後半年も一年もこれが續いたとしたら私は維持は到底出來ないと思ふ。食ふに困つてゐる人間がじつとして居やう筈がない。そうなれば社會的に一大不安が突發する、と云はねばならぬ。もう一つは産業界の破綻が今いつたやうな狀態で進みつゝあるのに銀行だけがはたして維持が出來るかどうか。御承知のやうに株は一時の三分の一に暴落して居る。重要商品がどん〳〵暴落して居る。土地も激落して居る、銀行の擔保は大部分が頭金を不足して居る。決算を見ると擔保を其儘としてなんとか表面は損をしないやうに見せかけて居るが、今の値段で處分をしなければならぬとなるとその損失は莫大に達する。とこ

ろが今の政策が續く限り、今の値段が半年や一年の中に上るといふことが考へられない許りでなく、社會の各方面とも益々喰ひ込むのであるから必然に預金が減つて行くし貸出してゐる分は回收が出來ないといふことになる。貸付が回收されず預金だけがだん／＼減るとすると結局擔保品を處分する外ない、つまり貸金が半分になるといふ事になるから銀行だつてむろん安泰では居られない、そういふ處まで行けば昭和二年の銀行騷動のやうな一大不祥事を起しはしないかといふやうなことが一つ。第三は產業界萎靡、輸出不振のため國際收支關係、貿易のバランスがとれず正貨が外國にどん／＼出て日本の金貨が足りないといふ處から再び恐怖心を起こし、金解禁の維持が出來ないやうになりはしないか、そういふ方面から經濟界は混亂になりはしないか。以上三つの悲劇的な想像に對して第四にはこのまゝなんとかして行けばなんとか途が出來てそういふ悲慘事を見ずに過ごしはしないか、民政黨の諸君は恐らくこの第四を期待して居られはしないかと思ふそういふ期待が、はたして來るかどうかそれは問題である、今日の問題は要するに以上四點にあると思ふ。

先ず第　の多數失業者や農民や中商工業者がどんなに困つて居るかは之はみなさんがこの近所の實際を御覽になればすぐ分ることである。之れがための救濟方法としては公債を起こして仕事をやるか、乃至は金のある處から税金を取立てゝそれで救濟するか二つの外ない。而し税金を取立てるとしてもその見込みは少い。そうすれば公債を起こして仕事を與へる、農民には繭に對して保證方法を講ずるとか、食つて行ける方法をする、失業者に對しても食つて行ける方法をしなければならない。要するにこの不景氣を根本的になくさせるといふことは出來ないけれど堪え得る程度の處までなんとか緩和して貰ふやうな政策を選ばざるを得ない、それはいふまでもなく今日の非募債主義政府の緊縮政策の破綻であるが、その結果はどうなるかといふにそれだけ仕事が多くなり購買力が殖えて來る。但しこれがため日本の輸入超過は益々多くならうからして國際貸借の方から日本の金解禁の維持が困難になり再び金の輸出禁止をやらざるを得なくなるのである、民政內閣が今日世間のごう／＼たる非難にも拘らず、依然として緊縮政策を續けてゐるのは、緊縮政策といふ金看板を樹り

替へることを躊躇してゐるのではない、金解禁の破綻を虞れるのである。

第二は金融機關が此狀態に於てやつて行き得るかどうか。預金はどん〳〵減りつゝある。が全部の銀行が平均して減つてゐるのではない、平均して減るのであれば二割減つても堪え得られる、けれども二三流銀行中最も甚しき銀行では四五割減を見てゐる、鎖が切れる時には一番弱いところから切れる、最近では一流と二三流の預金の開きといふものは增々大きくなつてゐる。から一流銀行は別として、二三流銀行は整理をすると即缺損を出すことで自分を危くするから、利息が現金で這入らなければ手形で我慢して極力ボロを包まふとする。債務者を生かして置くためには追貸しをしなければならない、臺灣銀行と鈴木商店の關係は追貸し追貸しで失敗した一例である、今後さうなれば銀行に對する不安といふものは大きくなる。私は今年の四月頃金融動亂の恐れはないといふ論文を中央公論に出したが今日はそれを取消さざるを得ない其後の情勢は甚だ惡化した、今後更に半年乃至一年も此狀態が續くといふことであるならば、其論文に書いて居ることに對して責任が持てないのみならずさういふ主張を續けるわけには行かない、目下の財界は斯くの如き非常な危險を孕んでゐるのであるから政府はさういふ狀態が來ないような政策をとらねばならぬ。即ち緩和するといふ政策以外に政策はあり得ないのである、緊縮政策を緩和して擔保品價格が見直し商工業者の狀態が恢復して貸付金が返濟されるやうな政策が必要なのである。

前途を占ふ下期貿易

殊に考慮を要するのは國際貸借の平衡が失はれることに依て資本の逃避を促し金解禁の維持が出來なくなることである前述の如く金解禁準備中最も大切なことはこの輸入超過をなくすることであるが之が出來ねば金解禁は到底維持が出來ない。處がこれに就て現內閣はその國際バランスが恢復出來るといふ見込みのない中に解禁をやつてしまつた。尤も昨年ははゞ貿易のバランスがついた、がこれは貿易狀態が改善されたのでなく一時的の性質のものであつて今年の下半期の出超は某大會社では七千萬圓見當と見てゐる、又信ずべき方面で

は五千萬圓以下だらうと觀測してゐる。

尤も例年は輸入超過だ輸入超過だと云ひながら貿易外に一億五千萬圓ばかり受取勘定があるものだから大體それでけりがつくことになつてゐる、貿易外受取勘定とは御承知の如く海運收入、移民の送金、海外事業の利益等から成立つものだが今年は海運事業が未曾有の不況で船舶はどん／＼繋船され、解體されるものすらある樣な仕末であるから海運收入は恐らく例年の半分以下だらう、送金の方もアメリカがこの不況では却てこちらから送らねばならぬといふ狀態になつて居る、支拂勘定の方は貿易外の公債利子など少しも減らぬ、さういふわけで昭和三年までは一億五千萬圓許りあつた貿易外受取勘定が、これも今年はよく見積つてまづ半分以下である、結局今年は一億二三千萬圓も海外に支拂わねばならぬといふことになる、我々今日の狀態から考へて二億圓内外の正貨が來年二三月までに出て行くであらうといふことを信じないわけに行かない。二億圓の正貨が海外に出るといふことはそれだけであるならば大した問題でないが、來年も來々年もつゞくとすれば由々しき問題である。兩三年間に四五億の正貨が流失するのである、此處で四、五億も出されたのでは第一に銀行がやつて行けない、それだけの預金が引出されたら大變である、人心が動搖する、誰もが爲替は暴落するだらうと考へるやうになる、其結果は圓を賣つて弗を買ふ、資本は必然に愈々海外に逃避し、金解禁は絶對に維持が出來ないといふ結果になる。

生活樣式の變化と入超

それでは輸入超過は克服し得ないものだらうか？日本の輸入超過の根本原因は少くとも三つある。

第一が一體今日の經濟組織に於ては——如何なる經濟組織に於いてもそうであらねばならぬのであるが——働かなくちやものが買へないといふことが根本の原則である、吾々が購買力をもつには收入がなくちやいかない、働かなくちや收入がない、此理論から云へば物を買ふ力は物を作つた力と等しい、それ以上は借金でなければ買へぬ、我が國では大正九年以來、輸入超過になつて愈々行詰ると何億といふ公債を出して救濟してやるといふ放慢な政策をやつた爲めに外國から物

を買ふ力があつた、之が我國輸入超過の主なる原因であつた之が一つである、原因がこれだけであつたならば、緊縮政策に依て或點まではこれを克服することが出來る、民政黨はこの一點だけを目がけて緊縮政策をとり來つたのである、處が輸入超過の原因は其外に未だ二つある。明治の初年我々日本人の生活樣式は急速に歐化した。ことに歐洲戰後、就中震災を劃期として、衣食住のすべてが著しく歐化しこれがために其の方面の輸入が激增したといふ事實を見逃がしてはならない。紅茶、毛織物、自動車、ガソリン、活動フイルム、レース等を初め衣食住が洋風化した結果として輸入が殖えたと考へられるものを調べて見ると歐洲戰爭までは、輸入全體の六分七、八厘しかなかつた。處が今日では一割一分内外に殖えて居る。金高でいふと戰爭前までは四千五百萬圓内外の輸入に過ぎなかつたものが今日では二億五千萬圓内外になつて來た、其外に原料として輸入される皮革類羊毛の如きものを入れて戰前は二億五千萬圓であつたのが今日に於いては十一億三千八百萬圓になつて居る。

一般に日本の輸入の大部分であるといはれてゐる棉花はどれだけあるかといふと戰前は二億三千萬圓、即ち戰前には棉花と前述の洋風衣食住關係品と略同じ位であつた（昨年は棉花の輸入が非常に多いと云はれたが）それで五億七千萬圓しか入つて居ない、一方生活樣式が洋風化した結果の輸入品は十一億三千八百萬圓、棉花の倍になつてゐる、之を全部のパーセントに直して見ると戰前の棉花は輸入全體に於いて三割二分を示して居るが今日にては二割五分餘りにしか達しない三割二分のものが二割五分に減つた、その代り生活樣式が歐風化した結果の輸入品は戰前には三割四分餘りそれが今日では五割一分餘りになつて居る、輸入が殖えたといふ根本原因は吾々の生活樣式が替つて來たといふことにあるのである。井上藏相其他は輸入の殖へたのを國民が贅澤になつた結果かの如く言つて居るけれども、よく調べて見れば、その方が便利だからそういふ風になつて來た、そういふ處に萌して居るのだから却々輸入は減らないのである。

六割は生糸で拂つてゐた

之に對抗する政策としては一つの方法は外國品は輸入する

が、日本からも亦盛んに輸出が出來るやうに產業を發展させる、第二は國民生活の新しい樣式に應じて產業を改造する、若し其何れもが出來ない場合は我が產業の程度に國民生活を合はせる、この三つしかない。日本は今まで第一の政策をとつて來た、輸入が殖えるだらうが輸出の方も盛んにする方針で來たのである。

一體日本からどういふものが多く輸出されてゐたかといふに生糸の外、水產物であるとか、マッチ、石炭、陶磁器、漆器、茶、木材、うるし、扇子、團扇などが重要なる輸出品であつたやうである、戰前に於いてはそれらが輸出全體の約二割四分を占めてゐた、處が今日では輸出全體の一割四分しかない、歐洲戰爭まで輸出の二割四分を占めて居つた處の日本の輸出重要產業は全部衰亡してしまつたのであつた、その代り絹關係品が發達した。生糸及絹關係といふものは戰前までは輸出全體の三割七、八分しか占めて居なかつたが今日に於いては四割五分から六分を占めて居る。金額で大正一二年には二億圓內外の輸出しかなかつた絹關係が、昨年は九億五千二百何十萬圓を占めて居る、その外に御承知のやうに綿關係品、綿糸布といふものゝ輸出が殖えて居る、これが現在では五億圓許りあるが然し原料たる綿花は全部輸入品であるから得るところは加工賃に過ぎないのだから今日對外支拂の大部分は絹關係品にたよつてゐることになる、ところでこの絹關係作品でさういふ風に貿易のバランスがとれるのには生糸の値段が百斤小くとも千五百圓乃至は二千圓見當でなければならないのに、處が戰後の二千圓の生糸は今日では三分の一になつてしまつた。

如何なる國に於ても日本の如く輸出の大部分が或數種の品に限られた場合その重要なるものが暴落したら貿易のバランスは失はれる。

糸價の暴落は永久的か

そこで問題になるのはこの暴落した相場は果していつの時に恢復するのであらうかである。今年の繭相場は一貫匁に就て六七十錢の損だといふことである、それでゐて製糸家も亦元を切つてゐるのだから早晚元價までは引返さなければならない、多數の人が左樣に信じてゐるやうであるが私共は生糸

の暴落は一時的でなくかなり永久的の性質をもつと見てゐる生糸だけではない棉花も羊毛もといふ風に織物原料品は悉く暴落してゐる、その根本原因は大戰前まで殆んどないといつて宜い位に僅かであつた處の人造絹糸の製造が非常に殖えた其結果として人造絹糸の需要が殖えて來たので世界の織物原料界は一帶に供給過剩に襲はれた、大戰までは生糸生産高の三分の一强に過ぎなかつた人絹が今日生糸の三倍近くなつてゐるのであるつまりそれだけ織物原料が增加した、大戰で國民が世界的に疲弊して居るので需要はさう殖えてゐない、必然に各種の纖維工業は織物原料供給過剩のために例外なく打撃を受けたが就中人造絹糸によく似てゐる生糸の受けた壓迫は非常に大きい。此供給過剩は容易に克服し難い、現に日本許りについて考へても今日橫濱にある處の滯貨をなくするだけで一年や二年かゝるといはれて居る、あゝいふ滯貨がある限り生糸の値段の上りやうがない、一方人絹は逐年改良され値段は反對に安くなつてゐるまだ〳〵低下しても採算は不可能でない、これらの點を考へると人絹の壓迫の爲めに生糸相場は非常な革命期に逢着してゐると考へられる、政府當局は生糸の製産費を引下げて之に對抗するより外仕方がないと云つて居るけれども吾々から云へば果して日本が生糸の生産を續けて行けるかどうか、といふ根本問題を考へなくちやいけないじやないかと思ふ、又人絹に對抗するには値段をもつと安くするより仕方ない、がそれは可能だらうか。養蠶家の收入はまだ〳〵減るより外仕方がないがそれでも果して生糸を造る方が良いかどうか？

我國際貸借に破綻來る

糸價が假に上つた所が八百圓臺——それ以上は先づ見込みがない、我々が今迄生糸に頼つて外國のものを澤山使つたと云ふ經濟は玆に於て一大破綻に瀕して居るのである、入超を喰ひとめる段ではない、輸出するものは、半分に減つちやつ

た。兎に角これ迄は生糸の値段が千五百圓二千圓するものと見越してどうにかバランスの安心がついて居たのが、七百圓から六百圓に落ちかけたので根本的破綻を示して來た、此の破綻が眼前に輸入超過となつて現れて居るのであるから、對策を樹てるにしたところで一年や二年に輸入超過をなくするやうなことは出來ぬ、二年も三年も或はもつと長い時日を要すると見なければならない、其間輸入超過がつゞくと考へざるを得ぬ、玆に於てゞある下半期の輸出超過が僅々五千萬圓に過ぎないといふことになると非常なセンセイションを起すことになるのである。

民政黨內閣としては玆で金解禁が維持出來ないといふことになればただに內閣の運命を危地に陷るゝのみならず、濱口首相井上藏相の政治的生命を亡ぼす、といふ重大な立場にあるから貿易のバランスを維持することに死力を注がねばならぬが消費節約强制のために國內產業は不振を來し、社會不安の虞れがあるのみならず、資本は海外に逃避せんとしてゐる。

現內閣は全く進退兩難である。當局者は何とかやつてゐる內に世界の景氣がよくなることもあらうと、たよりにならぬことを賴りにして下半期の輸入超過を多くしやうとすることに此際全力を擧げて居るのぢやないかと思ふのである。普通の場合ならば此下半期輸出超過が二千萬や三千萬違つても大した問題ぢやないが、此際の二千萬圓が上に違ふのと下に違ふのでは大變な問題になるのである。政府支持の正金銀行や日本銀行の云ふが如く七千萬圓の輸出超過ですむならば恐らく人心はまあ是ではもう少し形勢を見よう、玆で騷ぐ必要はないと云ふ風に安心した態度を持つかも知れない、所が五千萬圓よりも尙二千萬圓少くして三千萬圓の輸出超過に過ぎないと云ふことになると一大不安が起るに違ひない、それで此下半期の輸出超過が二千萬圓多くなるか少くなるかと云ふことは普通の場合とは丸る切り違つた重大意味を有つて居るのである、國民全體に一大動搖を起すかそれとも國民を何とか安定させるかと云ふ重大なる岐路にあるのである。

本を讀め！

新刊紹介

お前の身體はお前のもだ

マルグリット著　木村幹譯　一圓五十錢　アルス刊行

今の世の中に自分の體が――肉體が――貞操が、自分のものだと言ひ切れる人が本當に何人ゐるのでせう。先づ第一に親達が許しません。次に社會と國家とがこれを許しません。法律はこれを禁じてゐます。更に云へば、資本家がこれを欲しません。自分の體は自分のものだといふ斷案の下に、徹底的に產兒制限の自由を提唱し、絕叫し、延いてはこれを資本家對勞働者の問題の解決の要諦として、世界の平和を招來しようために書かれた小說がマルグリットのこの『お前の體はお前のものだ』です。

本書によつて世界大戰後のヨーロッパの社會の遷移と及び自覺せる女性のつぶさに艱苦を嘗めさせられながら歩む道程とを手に取るやうに知る事を得ます。

古代社會（下卷）

モルガン原著　山本琴子譯　一圓五十錢　共生閣刊行

またれた下卷か出ました。いよ〳〵研究は進んで、家族觀念の發達財產觀念の發達についてモルガン獨自の廣汎な史的理論が展開されてゐます。

日用品の買方

前田繁一著　五十錢　經濟知識社

不況時代に處すべき消費者の座右餘！內容を細別すると、豫算の立て方、正札の正體、商品の見分け方、虛榮が齎らす損のかず〳〵國產品、舶來品。

エロ・グロ・巴里

鈴木秀三郎著　一圓三十錢　平凡社版

本書を以て エロ・グロの巴里の素描だと早合點する者があつたら大間違ひです著者はその卷頭で『私が一新聞記者として見聞した巴里明暗の世相若干を書綴つたのである』と謙遜してゐますが、中味は新しい時代に呼吸（いき）づく巴里女を主題として赤い隅、青い隅、黑い隅さま〲の音と影と色彩を怪しくも織り交ぜて『これが巴里だ――』と投げつけてゐるのであります。

產業合理化とは何か

河上肇著　十錢

失業經濟學

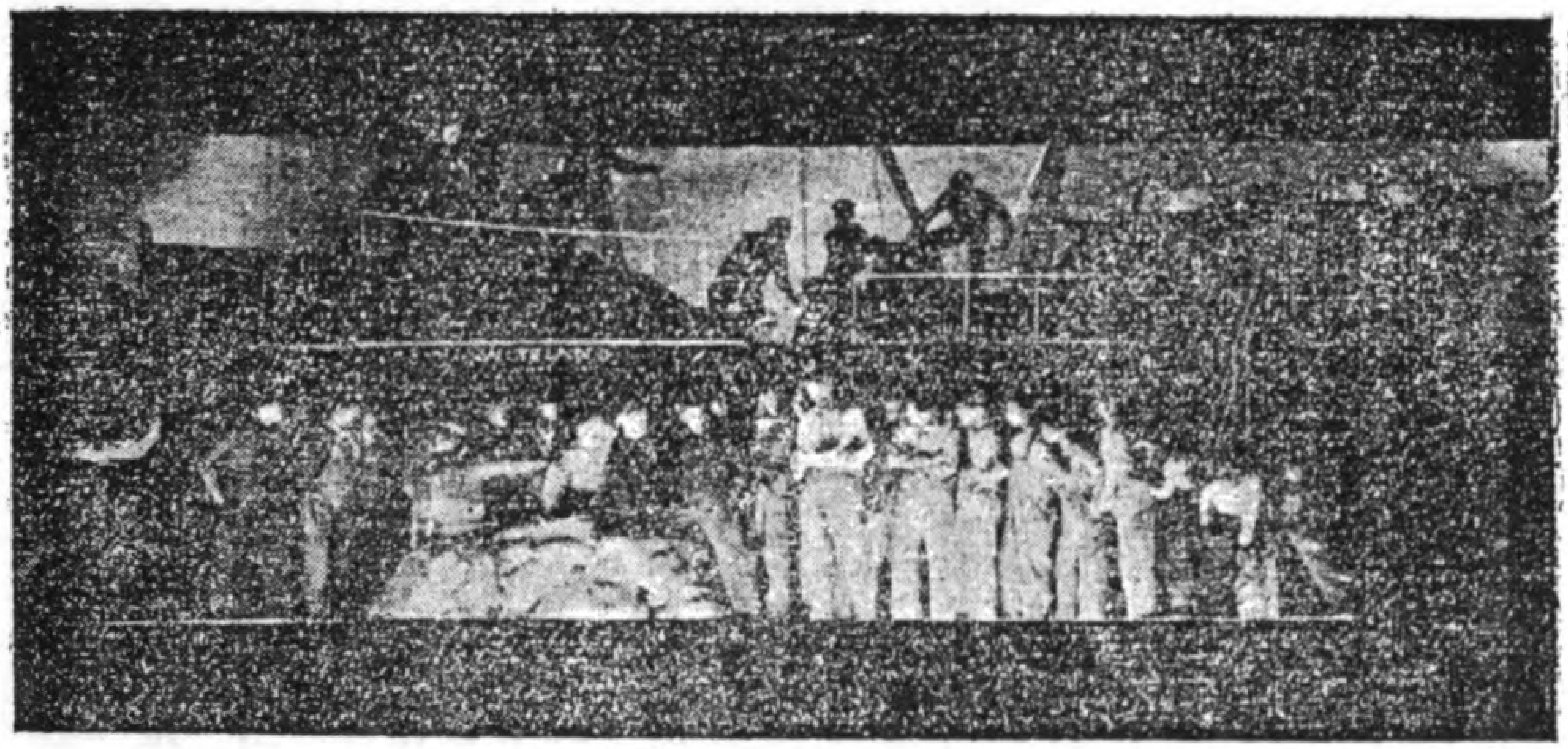
ホブソン原著　內垣謙三譯　七十錢

產業の武裝と勞働階級

オアイス原著　水野正次記　五十錢

右三冊　同仁社版

以上本社代理部（振替・東京六四一六〇）取次

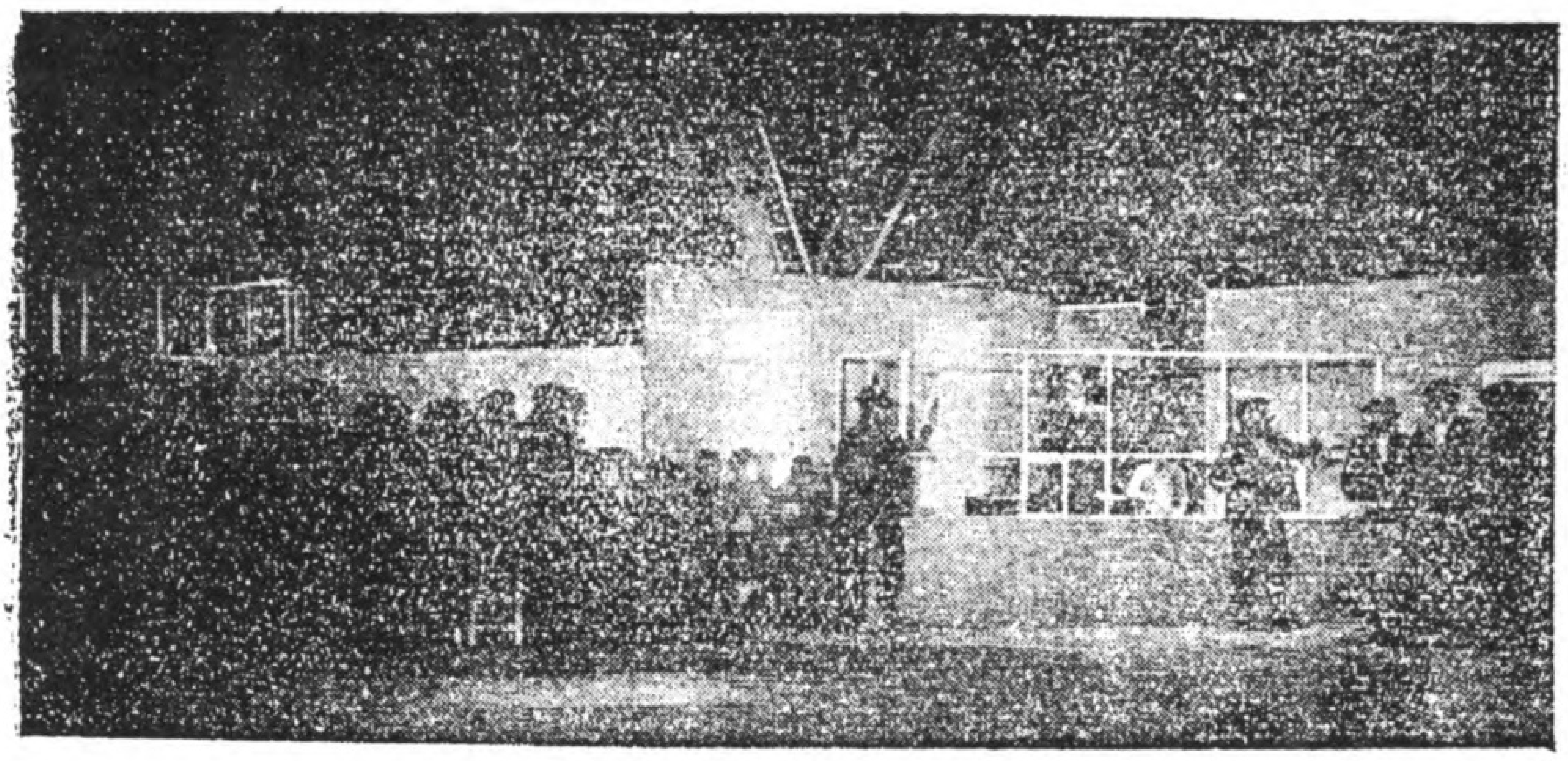


反響

（新築地劇團）

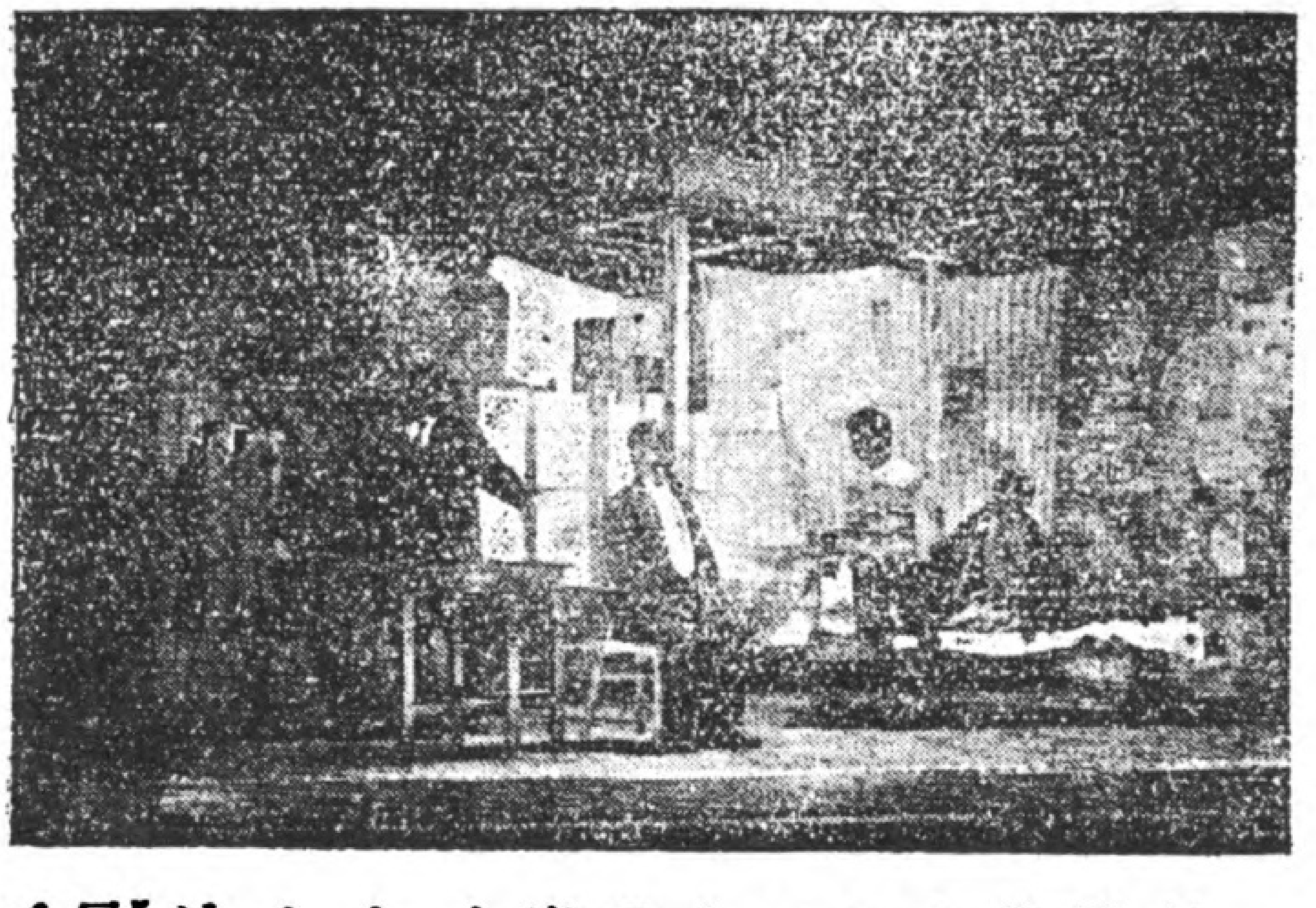
資本主義發展第三期の特徴として、勞資の對立は益々激化され、産業合理化、操短工場閉鎖等の經濟的彈壓から國家權力によつて意識的になされる各種の政治的虐殺に對し全世界のプロレタリアートは全面的勇敢なる鬪爭を試みてゐる。

而して去る十一月七日こそは最初にこの鐵鎖をプロレタリアート自らの手によつて美事に斷切つた第十三回目の記念日としてひとしく全世界の被抑壓者階級により、より大なる鬪爭を以て鬪ひ抜かれた日であつた。新築地劇團は左翼劇場應援の下にこの『明るき未來への橋梁』を記念すべく十一月一日から六日まで市村座に於てプロツエルコフスキーロシア革命がまさに成功せんとしてゐる頃、アメリカ西部の港シヤトルに於て東亞の反革命軍援助のため武器と食料を積んで出帆しようとしてゐた汽船ワイトランド號に對し、高き意識を盛つた勞働者は仲仕を口火として全市に亙りストライキを決行し船の出帆を阻止すると共に、彼方の同志への巨腕をさしのべた。これに對する資本家階級總動員の彈壓は、遂に(裏切り)スキヤツプを雇入れ、汽船は積荷半載のまゝ無理に出帆せられてしまふ。萬策つきて勞働者側は決志の同志スミツトとジヤツクの手により積載の爆薬に點火、船を爆沈させてプロレタリアートの義務を果たす……と云ふあら筋でこの間資本家は白人對黒人の人種的僻見を利用し、黒人のスキ



ャップを雇入れ樣として黒人の指導者ボブにより阻まれるや之を捕縛してリンチ(私刑)に處する所があり、職業紹介所の欺瞞、社會黨が誰の味方であるか、等が次々に暴露され固く腕をむすんだ勞働者の前には如何なる鐵鎖も美事蹴跳ばす事が出來る事を說いてゐる。

例によつて檢閲の大鉄は二場全部のカットを初め臺詞の削除無數の有樣で、觀者に以上だけを理解せしめた演出は非常な困難をよくも爲したと云はねばならぬ。個々の場面について二三の遺憾がないでもなかつたが。…………



然し第四幕に入つて一切は完全に緊張する。デモに對するスキャップの怖れ、官犬の狼狽、かくしてアイトランド號は積荷半載のまゝ出帆してしまふ。

『もうストライキは海の上まで來ない』と云ふスキャップ等の安心をのせて船が東亞に急ぐ時。………間斷なく聞える汽罐の音と雲の動きによつて船の進行を知る……奴等のおべつかさY談が進む時、船底では決死の同志によつて爆藥に火は點ぜられた。

『同志よまた會ふ日まで』

だが彼等はもう永遠に相見はせぬだらう

然し同志の英雄的行爲と思想は全プロレタリアートの胸にかへり咲いて來るべき日の巨火として烙記されたのである。

職業婦人は云ふ！

婦人車掌の活動

伊藤さく子

赤襟嬢と云つたら東京市電の女車掌だと云ふ事を直感する程、通俗的な代名詞となつた。

職業婦人でも危険な不衛生的な勞働をするので、寧ろ勞働婦人としてさげすんだ觀念からの代名詞かも知れない。それでいいのよ。どうせ資本家のおだてに乘つて、自分の生存價値をいたはらない連中の多い世の中だから。赤襟嬢、私は此の名が氣に入つた。私達は全身眞赤になる時完全に人間らしい女の生活が出來るのだから。所で私達はどう云ふ勞働をして、どう眞赤になりたくて活動してゐるかを一寸書いて見よう。

朝の六時になるとあのうすぺらなコンサーチ服で間借りの

二階から飛び出すのだ。朝は寒いのでつらいが、私達の玄關である瀬戸口がキレイに凍つてぬからぬのが氣持がいい。

あの、鏡をはりつけた樣な氷がパリ／＼と破壊する音、此の破壊の音が痛快になるには譯がある。そうだ私達は四月のストライキで電氣局へ一大デモを決行したとき、婦人が最も勇敢であつて戰鬪的男子勞働者と共に裏門へ押しかけた時、店のウインドの硝子が私達の壓力でパリ／＼チヤリンと破壊された。その時は警官隊なぞはグン／＼押しまくつた、到々かなわないと見た警官隊は毒ガスピストルを發射した。あのとき百二三十人もやられたが、澤山の警官隊をグン／＼と押しまくつて行つた痛快さが忘れられない。パリ／＼何と痛快な音だつたろう。

六時に出勤して十時間は自動車の上で胃袋と子宮とが衝突してゐる、電氣局の制度は車へ乘る時タイムレコターで時間をガードに記錄する、降車したとき又記錄するのだ。これだから一分一秒でも乘車してゐない時は給與を與れないのだ。十時間實際給與を受けるには十二時間の時間を要する。二時間は無給で休憩してゐるのだ。

乘務をすると區間制だから次の區間迄には既に乘つた客の切符は全部切らねばならぬ。お客なんてのんきな者で、私達の忙しい體で一種の性的滿足でもしようと云ふのか、一一からかつてゐるからにくらしくなる。

自動車は最高スピードで疾る。停留場の呼聲は何べんも繰り返して呼ぶ。發車停車のあひずは機敏にせねば哩步合が少くなる、目の廻る樣な忙しさで一日二百哩位はグル〳〵と乘り廻るのだ。

此の間に電氣局は密行と云ふ係員を一般乘客と同じ樣に種々な服裝に變へて自動車へ乘り込ませ嚴重に監視をする、少しでも過失や怠惰があつたらたちまち處罰減給と來るのです。スバラシイ科學的な勞働監理だ、此の上合理化しやうと狂氣になつてゐるのだから骨と皮になつても間に合わない。

一番困ることは私達の月經時である。手當の問題よりも金錢に誤算が生じて困るのです。密行て奴は常につきまとつてゐて時々臨檢を行ふ。その時切符の賣り上げと、現金とに差があると少なければ辨償で濟むが多いと不正行爲としてドロなはがかゝり直ちに馘首を言渡されるのだ。それが不正行爲の汚名を着せられて、くやしさに泣きはらして馘切られて行つた人々の內十中の九迄は月經時です。

『月經時五日間の休暇をよこせ』の鬪爭スローガンがこゝから出てゐる。

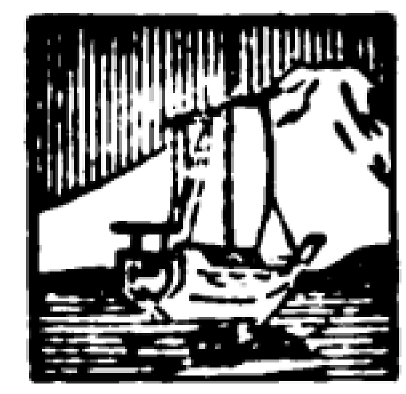
市電從業員のデモその他集會に、婦人が檢束されない事はない位、私達は警察の留置場に訓練されてゐる。

永いのは二十九日の拘留があるが、自分達の力があれだけ強大になつたのだと思ふと、少しの苦痛もなく努まるのである。同時に此の力の强大が無產者を解放する唯一の途であることがハッキリ認められるであらう。

私達は同志が一人でも多く組織されることを全國の婦人に呼びかけずにはゐられない。職業婦人だけでも私達と同じ樣な氣持になつたら、婦人の解放は簡單に出來る樣なハッキリとして見通しがついた。

皆さん、だらしのない中間派の組合や資本家の廻し者民主主義者の組織にとぢ籠つてゐたのでは、無產婦人の解放にジヤマにこそなれ何の役にもたちません。一產業の勞働者が日本全體一個の組合に結成され、指令一下全國的に統一的運動

を取れる様にならなければ私達の解放は覺つかないのです。



職業紹介所排撃

浦上ももよ

この國の失業者總數は百幾十萬と推算されてゐる。東京府及び東京市に於ける東京地方失業救濟委員會では、その對象地域の失業者數（七月現在）を十二萬四千二百十二人、内、女の失業者一萬四千二百三十六人、と發表してゐる。

但しこの數字は、曾つて職業をえてゐた者で失業したもの、職業紹介所の統計に現れたものだけを土臺としての推算であるから、實際の失業者は、況して、未だ一度も職にありつけないまゝ求職にうろ〳〵して困り切つてゐる人達は少しも入つてゐないのであるから頼むに足りない。殊に、男子失業者の影には扶養されてゐる――ほんとうは扶養され得ない實情にあるのではあるが、失業家族としての貧窮な妻女及びその子供が居ることを思へ。

ところで職業紹介所では、何月の求人が幾萬幾千幾百幾十幾人で、求職人總數が幾十萬幾千幾百幾十幾人、紹介實數幾千幾百幾十組みの内成立は幾百幾十と、毎月の數字報告の字づらの大きからんことがまるで競爭かのやうだ。

型の如く問はれ答えて、紹介箋を貰つて、教へられたところへ行く。市電の乘車賃七錢也。（省線だつたらもつと高い處がザラに有る）

『もう決まりましたよ。あなたの前に三人も××職業紹介所から來ましたよ。來るならば、もつと早く來なけれあ、駄目だ』

『紹介所からすぐ電車で此方へ來たのですが』

あゝ、愚か者！　紹介所では求人者も求職者も多い程いゝんだ成立しないことの明らかな事情の者であつても、或ひは、もう成立したであらう後でも取扱ひ數を表の上に多く表すためには、電車賃とそれだけの時間と勞力はこつちに關はることぢやないぢやないか。で、どん〳〵機械的に求人側へ送りつけるのである。右から左へ、幾人も幾人もの人を紹介して

『隨分いろんな奴が控へてゐませう。どうぞ選りどり御隨意に。これでお氣に召さなけれあ、あと幾人でもお目にかけられます』

といはぬばかりだ。

或る求人者は勞はり深い親切でたしなめて與れた。

『子供の面倒をみるのは好きでないといふのに、何故、此處までゐらしたのです。こゝは幼稚園でせう。纒まる筈がないぢやありませんか』

『先方は、女學校を卒業した人が欲しい、と云つてゐるのですからとに角、行つてみなさい、と云ふのでどんなお仕事とも知らずやつて來たのです』

『向ふに親切がないことも事實でせうが、紹介所がさういふ不親切な處である以上あなたの方でしつかりと問合せてかゝらなくてはなりますまい。』

と云はれて、やつと私は救はれた。

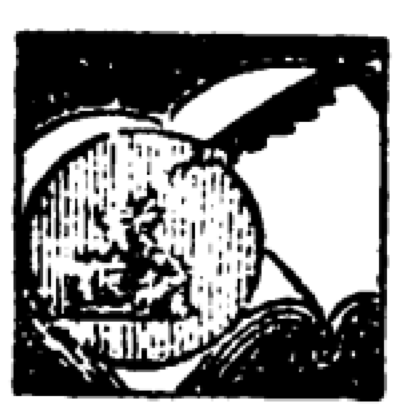
職業紹介所をして最低賃銀を確立せしめよ。

あとから〳〵と、より低廉い給料に甘んずる者を紹介し廻しては今日では、職業紹介所は賃銀低下促進所のはたらきを有効にすることに依つて雇傭主側の御きげん取りを果し、彼ら紹介所存續の安泰を期して營々としてゐる態ぢやないか。

雇傭主本意の職業紹介所排撃！

賃銀低下機關としての職業紹介所排撃！

既設職業紹介所の欺瞞にかゝるな。



チップ五千圓

北條章

話は大連警察署であつたこと。

――月廿九日、藤井司法主任の取調べをうけた彼女、カフエーダイヤの女給たか子事大内きぬ子（二三）は、

『妾は留置場に入れられる様な惡事はしてゐません』

と係官に喰つてかゝつた。

係官『お前は代議士の娘だと觸れこんでゐる相だが事實か』

たか子『妾はそんなことを云つた覺えはありません。人

が勝手に云ふのです」
係官『お前は朋輩に、電報一本で實家から五千圓でも一萬圓でも送金して呉れると豪語してゐる相だが、實家はそんな資産家か」
たか子『五千圓や一萬圓位送つて來ませう」
係官『そんな資産家の娘であり乍らどうしてカフエーの女給などしてゐるか」
たか子『カフエーの女給は今の世では立派な婦人の職業で、何等女給などと輕べつされる理由はありません」
係官『高山老人に、妾になるから、二萬圓出せ、といつたのは事實か」
たか子『高山が餘り煩く付きまとふから、二萬圓とまとまつた大金を吹きかければけちんぼの高利貸のことだから手を引くと思つたのです」
係官『五千圓だけ貰つて、何故契約を履行せぬのだ?」
たか子『妾になるなら二萬圓です。四分の一の五千圓であんな狒々爺さんの自由にはなりません」
係官『金子を受取る時、お前の意志は妾契約に依つて男が五千圓出したのだとは思はなかつたのか」

たか子『稼業は世間で白眼視する女給であつても、妾も亦一個の女性です。貞操代二萬圓を五千圓に値切られては應じられません。妾は、五千圓ぐらゐたゞのチップの積りで受取つたのです」
嚴めしい司法係官の殺風景さに正にエロ氣分百パーセントを添へてゐるではないか。彼女は何等恐るゝところなく萬丈の氣焔を吐いた。

◇　◇

暗に咲くバラの花たか子の凄艶な容姿をめぐつていろんな艶つぽい噂は卷き起り、卷き上り、獵奇を好むエロ黨の間に百パーセントの魅力を投げかけた。その中の一人男高山源太郎（五九）は有名な高利貸、カフエーダイヤに來ては五十圓百圓のチップをたか子のために惜しまなかつた。
そのうち高山から持出された要求は、『妾になれ」といふのであつた。金子ゆえの戀それ以外に何物もないたか子にとつては、絶好のチャンスである。『安心して身を任せるためには二萬圓頂だい」と吹きかけた。だが高山も高利貸商買だけに値切り倒して結局チップとして現金五千圓也を渡す契約を結び、その夜某所に借りうけた妾宅へ來ることに話が纏り高山は大山通り三越呉服店にたか子を呼出し、そこの休憩所で、

手の切れるやうな百圓札五十枚を女に手渡した。
ところが金子を手にしたら、彼女の態度はがらりと一變して、妾宅にゆくどころか一緒に散歩するのも嫌だと袖を振つた。ところでこの狒々爺さん、騙された上に五千圓をとられて、どうしても諦められぬ處から滑稽ながら、恥も外聞も忘れてたか子を相手どつて詐欺の告訴を提起したのである。
たか子は受取つた五千圓の内二千圓を郵便貯金に、一千圓をダイアの指輪と白狐の首巻きに費消し、他の二千圓だけを懐中してゐたといふ。大連警察署では最近この種の凄腕の魔性の女が跳梁する時代とて、最も嚴重に取調べてゐるのであるが、そもこれは男性の罪か、女性の罪か、社會の罪か。
一圓のチップも五千圓のチップも『チップ』であることに何ら變りはない。女給が客から金子をとるのは女の腕次第、無粋な法律解決で何がわかるものか、といふ一流の常識論を彼女はもつてゐるのである。だからこそ、大連の女給四百名は團結して、『一圓も五千圓もチップに變りない』といふ論據に依つて今さかんに示威運動を行ひたか子のために無罪を主張してゐるのだといふ。

消費組合講座【三】

（編輯部編）

消費組合運動の現況

◇

前號に於て消費組合を以つて「資本主義を除々に蠶食して行く」（本位田教授）ものだといふ議論を批判し、消費組合聯合會の「消費組合による生産分配組織の確立」といふ綱領から必然的に消費組合モンロー主義（鎖國主義）に落入り、勞働者農民の諸闘爭に對する排他的傾向となつて現はれることをのべた。

前號の大森教授のすぐれた論文に於て（殊にその經濟的危機は政治的危機へと成長するの項參照）見たやうに、一九三〇年の世界經濟恐慌の嵐の中ではロッチデール主義の中の主要内容たる政治的中立といふ立場は、成立しがたくなつてきてゐる。今年八月ウイーンで開かれた國際協同組合聯盟第十三回大會で「ロッチデール主義は時勢に合はぬものであるから考へ直す必要がある」といふ提案が爲されたのである。此は本邦のロッチデール主義運動家にかなりなショックを與へたものであつた。英國の協同組合運動を見て來る者は多い。然しその建物の美と、百年昔のロッチデールとを見るのみで、運動の眞の流れを見て取れる能力を持つてゐる者は一人として行つてゐない。最近、ある階級運動者の闘士の報ずる所によれば、現在の英國の協同組合運動は日本の株式會社と何等異る所はないと報じてゐる。

次に本邦に於ける運動の實際を見やう

◇

消費組合聯合會

昨秋關東消費組合聯盟から脱退した、東京共働社、江東、北豊島、大崎、豊多摩、勞友等の消費組合から成り、ロッチデール主義を綱領に掲げてゐる。本年七月結成して聯合會となつたが、その創立大會席上で爭議應援を否決したことは本邦の階級戰線の前に、自己の立場を明白に示したものであつた。

その後聯合會の幹部は事毎に階級運動に對して反動的立場をとり、それだけ官設産業組合の陣列への接近を見せて行き始めた深川に民政黨古島の選擧準備のための消費組合を助け、同時に同所に出された勞働者消費組合を陰に陽に妨害して、フンゲキを買つた。

十一月初旬、大阪朝日の全關西婦人聯合會におびきよせらるゝがまゝに無批判的に代表を送つたことは、聯合會の理論的無能力を表示した。此を關東消費組合聯盟婦人部が本聯合會の本質を朝日新聞の販路擴張

政策なること、處女會、青訓と同じくブルジョアジーの教化總動員の帝國主義政策なる事をバクロして排擊（十一月十一日萬朝報に聲明書あり）したのと比べると面白い。

産業合理化で勞働者階級が窮乏して行くと聯合會の運動方針から、必然的に、暮しむきの惡い勞働者をトウタして、上層へ上層へと組合員の入れ替へをして行くのである。現に東京共働社成城學園支部について見やう。『協同組合時代』十一月號では「ここにはプロレタリアの鬪爭もなければ失業に喘ぐ妄らな勞働者もゐない。（中略）成城學園は御承知の通りブルジョア子弟教育のために巨萬の資本を投じて建てられた樂園である。組合員の家庭はピーピーしてゐない。福々としてゐる恩給組合員もゐる。重役、專務、課長、等と數へると、又中佐、大佐、中將等と上向的になる云々」

以上のやうな運動形態と、階級構成と。指導精神は、幹部をして不安動搖を感ぜしめずにはおかなかつた。過日帝大教授にして、官設産業組合の指導的理論家本位田、緒方教授を招いて、指導を仰いだ。然しかゝる指導が階級運動の上から見れば何れの立場を守るかは明白のことである。聯合會幹部諸君の個人的な、直接的な意見や感情如何に拘らず、客觀的には——階級的とは有産者協同組合の一勢力となりつゝあるのである。

◇無産者消費組合全國結成準備會

本年七月の第四回國際消費組合デーを機として生れた。準備會員には北海道より九州朝鮮に至るまである。十月五日には青森縣には八ヶの組合を以つて聯合會が生れた準備會員數十組合に及んでゐる。暫定行動綱項を揭げてゐる。此はまだ、一般、街頭的注目を引いてはゐないが階級鬪爭の上から見れば極めて重要にして意義深き結成であつた。

◇關東消費組合聯盟

紙面の制限もあるから簡單に進めやう。

一九三〇年度に於ける關東消費組合聯盟は消費組合聯合會は勿論、官設産業組合に對するイデオロギー優越が、更に技術的經營的優越を兼ねて來た事である。その各種の運動方針によく之は現はれてゐる。各組合の常務の質的上向、鬪士の登育、及今年度の新加盟組合が市電を始めとして、すべて勞働者組合であつたことは、本聯盟の階級的展望を極めて多幸ならしめてゐる。

本年四月の市電がゼネスト應援、十月の江東地區がストライキの巷と化するや爭議應援委員會の常設を決定し、洋モス始め大小の各爭議を應援した。その應援形態等は鬪爭の度每に批判せられ『消費組合新聞』十一月號に於ける爭議應援批判の社說の如きは、本邦の無産者消費組合運動の上にとつて極めて注目すべき論文である。

讀者は德永直の『太陽のない街』に於ける關東消費組合聯盟の活動が微力であつたことを知つてゐるであらう。然し今年に於て爭議應援に際して家族會の組織乃至家庭訪問等その他の應援は、强力なものになつてゐることを示してゐる。經營の可愛さに藉口して爭議應援をサボつた聯合會幹部と比べると興味ある問題である。

セツルメント日記

　セツルメントについての報告は別に會報『菊版四頁』を十一月號から本誌の附錄として出してゐる。こゝに將く記錄は今年度の願望であり、開設二ケ月のセツルメント運動への私の反省だ。

　現在の學校敎育はどこだつて、社會生活の現狀にあてはまらない詰め込み敎育の役に立たない困り物であるけれど、殊にセツルメントの協力者としてよい人を求めやうとする時、殆んど絕望的である。從來の敎育にあきたらずゐて、何かしら新しいものを熱望してゐる人は隨分と多い筈だのに、と、私は人知れず嘆息をつく。

　そこで私たちの落着いた結論は、とにかく今こゝに十四五人の協力者が有る。これから、あとの人手は急がずあせらず悠つくりと探しあてゝゆかう。出來ることなら、確かりした素材から養成してゆく覺悟で敎育方針、事業方針を立直したいといふことであつた。どうしても相當數の常務者が絕對に必要なのだから。

　勞働と敎育とが一致して初めて完き人の生長が可能なのである、と思ふ。

　私たちのセツルメントが私たちの働く場所であると同時に、私たちがみんなこゝで働きつゝ敎へられ育てられる處さならなければならないと思ふ。

　で、來春早々、私たちのセツルメント講習會の第一回を行はうと思ふ。

　泥棒をつかまへてから繩の憾みが深いのだけれど、どうせちぐはぐな學校敎育をうけて混沌たる今日の社會に放り出された者ばかりの世の中だ。

　それにあき足らぬ者同志が組んで、求める敎育を、求める仕事を、さうして求める社會を、自分たちで創造して生かしてゆくより外ないのである。

　私たちの仕事と協力したいと希はれる方各地方でそれ〲のセツルメント運動を初めたいと考へてゐられる方々は、ぜひ、婦人セツルメント講習會に出席の上斯道の專門家より內外の新知識を求められよ。詳細は一月號誌上で。

　一月下旬より二月上旬までの豫定。

講習料低額申受くる豫定。

當セツルメントに實費にて仕込みも可。

本誌の古い讀者である名倉さんが每日、千葉縣市川からお子さんを連れて手傳ひに來て下さる(托兒所へ)。お母樣なればこそと思はれるやうな細かい隅々に溫い心を配つて手傳つて下さつてゐる。姙娠調節の必要をもぜひ近隣の人々に傳へたいといつてゐられる。

　名倉さんの姿をみる度に思ふのであるが私たちの仕事が、かうした家庭婦人の協力を多くの方面に得て、內の仕事も、外の仕事もが、幾十層の厚みの上に組み立てられ

るものであつたらどんなによからうと。いや！　私たちはこの仕事の出發當時から、實はさうなることを一番に求めてゐるのだ多くの家庭で、有要な才能を持つた多くの婦人たちが、貧乏世帶のやりくりに追はれて足手まさひな子供にかまけて、たゞ忙しい〳〵であわたゞしく暮らし乍ら、而も、心の奥底に聞こえる滿たされない呟きを誰れに告げるすべもなく憂欝な生活を繰返してゐるのである！

さういふ母の心に、又、主婦の心に、一陣の清新な風を吹き送つて、社會人としてのあたらしい出發をして貰ひたい。かういふ心で私たちは多くの婦人の協力をこの仕事の上に求めてゐる。

子供たちの上に自由と健康があれ！

といふことが私たちの希ひである。希つてゐることの全てを實現出來る日は未だまだ遠いさきの日であるにしても、毎日八十數人の園兒を集めて子供たちの上に自由と健康のあれ！　と思ふ。

セツルメントでは、原澤主任醫から毎週一回衛生學の講義を聞くことにした。おひ〳〵と研究を進めてゆきたいし、あちこち見學したい處も隨分多いねえ、と、寄ればそんな話にすぐ花が咲く。

子供たちは雨さへ降らなければ、近所の小公園まで陽なたぼつこに出かけて行く、この頃では、お辨當も、戸外で攝つて大喜びである。

寒さと年末とが一緒にやつて來た。澤山の仕殘した仕事が心を突つく、とにかく、やれる丈やつてゆくばかりだ。協力者が殖えてほしいと思ふ。

たとえ一週に一時間の協力でも、どんなにセツルメントでは助かるだらう。仕事の上に協力の六ケしい方は、金子で！　有り合せの不用品で！

セツルメントは今、何も彼も不足してゐる。（奥）

嘲笑ふ

矢田津世子

人物

栗原。勞動組合の中心人物
節代、その妻、肺結核三期の重患者
老醫師、
勞働服の男、

六疊ばかりの粗雜な部屋の正面窓の下に、節代が薄い蒲團にくるまつて寢てゐる。上手、玄關の上り口で。猫背の老人と栗原が低聲に話してゐる。

栗原、ぢやあ、どおしても駄目なんでせうか。…………何とかもう少しならないかなあ。醫師、（首を振り乍ら）無理だよ。そう思はんかい。これ迄もつたのが不思議といふもんだ。な、諦めなさい、まあおそくも今晩だな。せい／＼我儘をさせてやろさ。な。

栗原、（兩手で髮を掻き拂りつゝ。）

醫師、（無言で手を振り）ともかく注射が打つてあるから今のとこ快く寢られるだらうが。夜分になつたらもう一度きてみるからな。（格子戸を開けて出て行く）

稍々長き間、栗原は茫然と立つてゐる。やがて氣が付いたやうに、机の抽出しから書類を出して目を轟せ、再びそれを納めて力なく瞬り、頭を抱えてグッとひと所を睨む。

——かなりの寂寞

節代、あなた…………ねえ　あなた…………

栗原、何？お前、起きてゐたのかい？

節代、いいえ、ねてたわ。

栗原、ぐつすり、氣もちよくかい。（つとめて笑顔をつくり、節代を覗き込む）

節代、おもしろい夢見たの。…………ねえ、話してあげませうか？（薄く微笑む）

栗原、うん。

節代、笑つちやいやよ、とてもおかしいんですもの。あのね、私が赤ちやんを產むの。その赤ちやんにね、どおでせう、小つ

ちやい羽根が生えてるのよ。エンゼルだわ。それを見て、あなたがひどく私を打つてれえ。神様と姦通した、つて云ふの。みんな沁が、私を踏んだり、蹴つたりして。とう〳〵私、その羽根のある赤ちやんを河へ投りこんでやつたわ。おかしいでせう。

………………あなた、聞いてないの？

栗原、（狼敗して）いや聞いてるよ。お前、今日はとても氣もちがよさゝうだれ。

節代、全で、お酒に醉つたやうに、サツトリといゝ氣もちなの。

栗原、その元氣で力を出すんだな。

節代、ホホ、、（消え入るやうに笑ふ）あなたは、まだ私に力が殘つてると思つてゝ？。

栗原、そ、それあ　勿論あるさ。

節代、嘘つき、………………私、知つてるわ、知つてゝよ。

栗原、何を云うんだ。何を知つてる、つて云うんだ？（ふと氣が付いて、愛情の籠つた口調になり、）れ、くだらん事は考へないがいゝよ。ほうら、空が氣持ちよく晴れてるよ。とてもいゝ色だ。何時ものやうに寢返りさせてやらうか？見度くないかい？。

節代、（微かに首を振る）もお倦きちやつた。………………れ、あなた、白い葡萄が食べてみ度い。實つてるかしら？

栗原、實つてるとも。行つてこやうな。一寸の間だよ。（立ち上り乍ら、無意識にポケットに手を入れて金を探る）

節代、あなた、（指先きで蒲團を押して）もういゝの。食べ度くないわ。

栗原、どおして？一走りだよ。

節代、欲しくないの。………………お砂糖水を下さらない。お砂糖まだあつたでせう？

栗原、あゝ　あるよ。（吸呑みの水へ、袋から抓んだ砂糖を入れる）

この時、不意に格子戸を暴々しく開けて、勞働服の男が駈け込んでくる。

男、（息忙しく）栗原さん！やつたんですよ、とう〳〵やつちやつたんです。

栗原、（男の聲と同時に飛び出てゐる）やつたんか？

男、うん、今度といふ今度は動きつこれえ。交渉決裂だ。ストライキ開始だ。みんなあ第二廣場に集つて………………

栗原、（興奮を取り戻すと、慌てゝ後を振り返つて、）れ、君、お願ひだ。餘り大きな聲を出さないでくれ。女房がその……

男、（始めて節代の方へ眼をやる）あゝ、そうですか。ひどく困つたなあ。みんなあ待つてるんですよ。困つたなあ。

栗原、君、（悲痛な面持ちで）な、解つてくれ、な、（嘆くやうに。）もう二三時間の辛抱ぢやないか。行くよ。きつと行くよ。

男、（再び節代へ眼をやつて、當惑そうに栗原を仰ぎ乍ら）お察しはしますがね。何とかその………………困つたなあ、三十分程都合つきませんか。一寸の間でいゝです。山源も禿鐵の父つつあんも一昨日から待ちあぐんでゐるんですぜ。

栗原、（悄然と）わかる。わかる。わかるよ。

男、ともかく、ね、栗原さん、何とかして走つて下さい。俺あ急ぐから………………ぢやあ待つてますよ。（云ふより早く駈け去る。）

その行手を、悲壮な表情で、栗原はぢつと見送る。

節代、今の、工場の方でせう。とう〳〵ストライキが始まつたらしいのね。

栗原、お前、聞いてたのかい？

節代、えゝ、あの人の命がけの言葉と、あなたの體のいい逃口上とをね。

栗原、何？、僕が逃げた。つて？（我に返つて、）いゝんだよ。行かなくたつていゝんだよ。心配なんかおやめ。あの男はね、何時もあの調子なんだよ。そゝつかしいんだ。

節代、仲々あなたは旨いわ。熟練してゐるわ（栗原の差し出した吸呑みを滿身の力を籠めて叩き落す）卑怯者！意氣地なし！インテリ出の弱虫！病人の私を手段に使つて、都合のいゝ逃口上を並べてるんだ。あなたにさつては二千の兄弟の命よりもたつた一人の女の方が氣がかりなのね。あなたが普段口にしてることは、みんな空論なんだわ。全で造花みたいに、いくら華々しくたつて、水に浸せあ直ぐ値打ちがわかる。組合の仕事なんて、あなたには只のお飾り………………

栗原、（蒼白になつて、）おい！お前あ、氣でも狂つたのか。

節代、えゝ、狂ひましたとも。いくら氣違ひになつたつて。女にくつゝてばかりゐる壁蝨よりあ增しだわ。へへ、、……あなたは壁蝨だわ。へへ、、………………（張り切つた高聲で嘲笑する、）

栗原、畜生！（帽子をひつ掴んで、）僕あ行く。行つてくる。（大股に戸口迄行き、一寸躊躇して、再び戻つて來て、節子を覗き、思ひ切つたやうに走り出る。）

節代、（心もち首を擡げて、）あなた、あなた、行つたの？もう行つたの？へへ、、とう〳〵行つた、行つてしまつた。へへへへへ、、、、（泣き笑ひが次第にかすれて、遂に途切れるところで、幕）



跛の子供

鷹野つぎ

此の春學校へ上つたばかりのお春は、學校へ行くのが樂しみであつた。大勢の子供たちと机を並べて、同じような動作をする。本をお讀みなさい、お書きなさい、手をおあげなさい、さうした一齊の行動がたまらなく愉快であつた

彼女は毎朝暗いうちに眼をさました。尤も彼女の家は豆腐屋であつたから、賣り子たちは暗いうちに起きて働らいてゐた。しかしさうした物音は、入學以前のお春には、決して眠りの妨げになるものではなかつた。

お春の母親は、髮をボヤボヤさせて、たいていは未だ乳呑兒につかまつてゐた。

『まだ早いよ、慌てるな。』

『やだよ。遲くなつちまふ。』

『ぢや、さつさと起きて自分で支度しな。』

お春はまだ二人の小さな弟妹たちの寢亂れてゐる寢室を出て、着がへをするのであつた。

不自由な彼女の兩脚は、腰骨から睨れてゐた。それで身體は恰度歩行に應じて、くの字なりに折れ曲つた。

人並みに眞直ぐに歩かうとする不斷の意識と努力とが、知らず識らず彼女の上半身を弓なりに後ろに反らせ、首は眞直ぐにその上に立ててゐた。しかし彼女の動作は敏捷で、

他人が不自由と見る動作の中にも、彼女なりの自由と便宜とは掴得してゐるもののやうだつた。

「はるちやん、あんまり慌ててころぶぜ」

賣り子の一人は揶揄でも皮肉でもなく、全く當然のものとして聲をかけた。彼等の眼には彼女の憐れな姿態は、われわれ常態人と同じように、眼に慣れては常態に見えてゐたのである。

お春は元氣よく足先を跳ねるやうにして歩きながら、仕事場のコンクリートの床の端にある井戸端で、顔を洗つたそれから鏡臺に向つておかつぱを黒いゴム櫛で、氣持ちよくスカスカと梳した。

顔だちの整つた彼女に、小鬢の飾りピンはよく似合つた。

「かあいさうに。よい子柄だのに。」

斯う囁き合つてふりかへつて行く人連れのあつた事を、彼女は時には思ひ出した。

そんな時の彼女は朗らかな、いたづらさうな瞳を鏡の中にうつしては、獨りで笑つた。

初秋の晴れた日で、眞青な空のペールの下を、朝鳥が、くつきりと輪廓を浮かして、ゆるやかに翼を煽つて行つた向家の大きな邸宅の前庭の木立の上で、時々羽を休めて行く鳥たちの一羽だ。

お春が赤い鞄を肩に、ヒョコリ、ヒョコリと脚を跳ねて行くとき、そこの綺麗な姉妹の女の兒たちも學校へ出かけるところだつた。

「瀬ノ下さん」と、お春は妹の兒に、ニッコリと笑ひかけた。が、彼女たちは急いで、彼女に追ひつかれまいとでもするやうに、先に歩いて行つてしまつた。

お春はしかし別に晴れやかな顔をくもらせもしなかつた。彼女はヒョコリ、ヒョコリ一人で歩いて行つた。あとから彼女のやうに赤い鞄を肩に携げた子供たちが、一人通りぬけて行つた。

校門へはいるとお春の身邊には、何時でも幾人かの眼があつまつた。だが、彼女の家庭に於けると同じに、あまりに見慣れてゐるといふ事が、お春の羞恥を喚び醒さずに濟んだ。

お春は教室へもちものを置くと、友達の一人をつかまへて聲をかけた。

『あんた、遊ばない？。』

『えゝ、遊びませう。』

今朝顔を合せた向家の女兒と同じ家柄の匂ひをもつた彼女は、すんなりした四肢をゆすつて同意した。まだ彼女の仲よしの遊び友達の登校しない時刻だ。

お春は誰れかしら自分を遊び仲間にしてくれるといふことが、うれしくてならなかつた。脚の不自由だといふ意識が、どうかすると彼女の愛想の一つとして、よく誇張された。

『あたいだつて飛べるわよ。』

この時も縄飛びの五六人の中にはいつて行つて、彼女はあの遊びに誘つた子供の方に、誇張して不具の脚を飛んでみせた。

『ヘヽヽ。うまい、うまい。』

みんなは、いつせいに囃し立てた

お春は斯うした賞讃にます〱得意を感じた。自分だけが多くの友達とちがつてゐる。それは天日にさらして、決して誇つていゝ特長ではなかつたにも拘らず。

けれどもお春には、それがみんなの仲間にいれられる特權でもあるやうに、知らず識らず阿諛の動作となつて、彼女を欺いてゐたのだ。

彼女は唱歌が好きであつた。いつでも脚を跳ねながら、何かを口の先で唄つてゐた。

斯うした、いかにも幸福さうな彼女を、ある日新らしく赴任してきたばかりの、擔當教師松本先生が、不思議さうに眺めた。ある時初めて見た行人が、ハツとしてお春の姿態に驚ろくやうに、松本先生の眼にも、それがいかにも惨めな、かあいさうなものに映つたのだ。

『歌を唄つてゐる、愉快さうに。』

彼れは胸の中で、此の唸きを繰り返した。

彼れはそれから毎日お春を見慣れながら、なかなかその感傷からはなれる事ができなかつた。寧ろ益々嵩つてくるのであつた。

といふのは、彼れはお春のその不具の姿態に、ふとある

惡感を感じたからであつた。

『フム、あれは股關節の脫臼から來てゐるものではないか。さうだ、簡單な脫臼ぢやないか、あんなのは赤ン坊の時になほせば、なんの造作もなくなほせたものだ。だのに何んと云ふ不注意であらう。なんといふ耕はない親たちであらう。人爲でなほせるものを、一生の子供の不幸に背負はせてしまふなんて…………。』

彼れの激しい憤りに似た感情は、不思議とお春の無心の快活を見ることによつて、爆發しさうなのであつた。

『關口はる子』

彼れは、ある日の遊び時間に、お春が嬉々として友達のあとから駈けて行く姿を認めて、呼び止めた。

『君はどうしてさうなつた、怪我かね?』

たづねる彼れの聲は低く、ひとの傷あとにふれやうとする慘酷な自責とで頷は赧くなつてゐた。

しかし、お春の答へは無心で、かんたんであつた。

『いゝえ。』

『病氣?』

『いゝえ。』

『ぢや、いつから?。』

『知らないの。』

『フム、』彼れは呻つた。『赤ン坊の時からだね?。』

『知らないの、何時でも斯うだつたの。』

そして彼女は、不要なことに時間を惜しむやうに、ヒョコリ、ヒョコリ飛んで行つてしまつた。

わるいことを訊うた、しかし矢張りさうだつた。親が不注意だつたのだ。と松本先生は愈々思ひきめた。

お春の心が、これからどう育つものか、定めて三省に恐れられるものは、その過程であるにちがひない。彼女は今最も美しい、最も神に抱愛される年齢にゐたのだ。

彼女の全心は、たゞ八才の女兒の無邪氣と溌溂とであつた。その不具の脚の、時には常人に劣る機能を思はせたとて、彼女の心をどれほど、それ以上の低徊に痛ましめたであらう。

しかし彼女も親の膝下に、また少數の隣人の間にのみ暮らす子供ではなくなつた。大きな衆團の中に、何等か精神

の變化を伴はせなければならない環境に達してゐたのだ。

彼女は家庭に歸つてくると、友達のもちものの事や、季節の服裝の事を話した。

「××さんはね、とつてもいゝお辨當袋もつてるの、それから靴も」とか。

「母ちやん、あたいもランドセル買つておくれな、鞄なんて姿勢をわるくするんだつてもの。」

母親はよくも聽かず、よい加減の合槌を打つた。いつでも氣忙しさに心を惱らせてゐるのだ

八人の賣り子たちは朝出ると、その賣り上げ高に從つて歩合をとつた。夕方出て再びその勘定をした。それは可成り構への大きな豆腐屋であつたとは云へ、一種の分配制度で、おはるの親たちの收入は、全く原料費と生産、及び販賣高との純料な差額によるものにしか過ぎなかつた。原料と生産の價格のひらきや、賣れ行きの不良によつては、親たちは一定の歩合ひをとる賣り子よりも、まだ貧乏なのであつた。

お春の母親は事實年中、やりくり算段に氣をつかつてゐた。時には可哀想なお春にさへ、その姿態に侮辱を投げるのであつた。

「そんな格好して、ランドセルつけたら、大笑ひだ。」

その時にも母親の出任せの合槌は、辛辣であつた。

お春は大聲で泣き出した。脚がわるくて、ランドセルを背負つてわるい法はない、と思つたからだ。

鞄は巧く出張つた腰の上へのつけて行ける習慣であつたが、それでも急ぐときや、駈け出す拍子に、吊紐が肩からはづれて、ブラリと首根から胸の方へ廻るのであつた。ランドセルならば確り背中にくひついてゐて、どんなに工合が可いであらうとお春は思つた。

母親の眼には瞬間ランドセルを背負ふた彼女が、どんな格好に見えたか、それを眼に描くさへ彼女には悲痛さはまことにちがひないのに、人の心情の上すべりしてゐる場合は、とかく此の母親のやうに淺く粗雜に放言しやすいものなのだ。

お春は、しかし直ちにこだわる事を忘れた。そしてその代りに夕方錢湯に連れられて行つて、母親のあまつた掌の白粉を、額に塗りつけてもらつてよろこんだ。

學校歸への午後は、豆腐屋の仕事場は片づいて、夕方までは最も閑散であつた。

友達の家に上り込んでしばらく遊んで歸つてきたお春が、いつものやうに鞄を投り出して、母親に何かおやつの

催促を仕様とする時、珍らしく奥の座敷の方に客の姿があつた。

それは母親と話してゐる、擔當の松本先生であつた。お春ははにかみながら傍らに、わるい脚を器用に折つて、ぺちやんこになつて坐つた。

『今だつて手おくれといふでもありますまいな』と、松本先生が話をつゞけた。

『まあ、さうでござんせうか、小さい時分にはあれこれと云つておくれるお方もありましたが…………今日ではすつかりあの體になつてしまつたんで、まゝよ、あれはあれだけのものとあきらめてをりましたやうなことで。』

『いや、私の云ふのは或ひは素人の見當ちがひかもしれません。しかし一應は診察してもらつて、治療がとゞくものならば、春子さんにとつては生き返つたやうな仕合せなんですからね。』

『生き返つた。はい、さ、左様で…………左様でございますとも。』

母親は斯う云つて、涙をポロポロとこぼし始めた。

お春は不思議さうに、その母親の表情を眺めてゐた。このやうに泣きぬれる母親の悲しみを、彼女は未だ見たことがなかつたからだ。

反對に松本先生は恰かも、叱責された子供のやうに、うなだれて畏つてゐた。

『こんなことは私として實におせつかいな事だと思ひます。また人にきかれても德義上實に差出がましいと思はれることも承知の上です。ただ私としては、なまなか醫者の本のやうなものを片見してゐたりしまして、なんとなく春子さんのゴ療治は絶望なものでなく、一日も一刻も早い方がよい、と云ふやうに考へましたものですから…………。』

『ハア、まことにご親切さまに…………。』

だが、母親は泣きながら、では早速診察してもらふ、とは云はなかつた。『あの只今主人も商ひに出てゐますで、かへりましたら、よく相談いたしてみます。』

『それはご尤もで。くれぐれも出過ぎた事を申上げてすまない。ご参考までにと思ひましたので。』

松本先生は、軈てひどく恐縮した様子で歸つて行つた。彼れの足音が消えると突然母親はお春を抱きしめた。

『わるかつたな、いけなかつたな…………、ア、わるかつたな、いけなかつたな…………。』

お春は烈しい母親の悲しみの唸きの中に、始めて暗い同じ悲しみを感じた。

父親は未明から働らいて、一日外を荷を擔ぎ廻つて商ひをしてくる人であつた。短かい法被、股引、色合ひこそちがへ夏冬いつでもその姿で日を送つた。大雨でも降る日に

は腰きりの雨合羽をかぶつて、だが、多くは地藏樣のやうに頭からづぶ濡れで、歸つた。

松本先生の歸つた夕方からも晩秋にくる、しつこい霖雨で、彼れは頭から濡れしよびれてゐた。

母親はその姿を見ると、今先生を迎へた感動の氣持ちと、甚だ距離のある氣持ちを感じた。

話すのは、賣り子たちがあつまつて、勘定の帳つけがすんでからと、彼女は思ひかへした。

何時ものやうに帳つけがすみ、夕飯がすんでも彼女は、氣むづかしい主人の顏つきに、一層あの感動との距離を感ずるのであつた。

ある賣り子は錢湯へ、ある賣り子は出歩きにと、それ〲寢るまでの時間をつぶしてゐるとき、一人の賣り子が主人に云ひ出した。

『今度故郷に歸つてみたいと思ひますが…………』

『あれからおふくろさんの病氣は、矢張りいけないかね』

『どうもよくないやうです。先達ても心細い便りをくれたので、一ぺん樣子見に行つてみたいと思ひますでね。』

『フム…………』主人は生返事であつた。

お春の母親は傍らで、直ぐ彼れに渡すべき步合ひの金の未拂ひの分を胸に浮べた。勿論どんな算段をしても、此の場合拂はなければならないものだ。

さて彼女にしてみればお春を抱へたどんな時に、餘分な金があつたらう。

お春の脚の、松本先生の云ふやうに癒せたかもしれない赤ン坊の時分には、主人が他の雇主の下から辛とぬけ出られたばかりの時であつた。そして步合ひの未拂ひに脅かされることから漸く免かれて、片ばかりの一戸を構へた折りのことだ。

夫婦共働の饑餓線の一步前のところで、彼女は三才になつても立てないお春を、暗い一室きりの茶の間に轉がして置きながら、營々と日を送つた。しかもまる一年置いて早くもその妹として生れてきた赤ン坊の方にも母親としての氣遣ひはあつた…………。

思ひ出は、現在の困窮が恰もその枝葉であるやうに、太い根幹になつて見えた。

彼女はそして結局、松本先生からの忠言を主人に告げる機會を失つてしまつた。

お春の股關節は總て一人前の娘として、害はれたまゝに肉づいて行くのであらう、正しくされない骨格の上に、しかも正しくされる可能をすてゝ、ばかげた戯畫のごとく盛り上つて行くことであらう。



巻末に

年末號の編輯の結びを自分でかこうとして、今度のやうに、まことに久し振りに本誌の讀者に物を言ひかけやうとしてゐる自分のこの頃のあわたゞしさを顧みられるのです。この頃殊に、私の身邊は忙しすぎました。

經濟的に可なり深刻な行すまりを來たしてゐる社會に消費者として——時に、下級な職業婦人勞働婦人として生産者として働きながら思ふのですが、このまゝに凝つとしてゐられやうか、と。然し、私たちのこの焦躁を何か形の上に生かしたいと思ふとき、數千人の仲間があつてもなほ仲間がほしい、と希はれるぢやありませんか。みんなが、直接に一つの仕事に繋がりをもとうとすることは數多くの人のひとしなみに滿足を得べきことでは勿論ありませんが、出來たいことは、意氣と意氣とが相通じてしつかりと結び合ひ、勵まし合つて新しい時代の建設者となりたいといふことであります。

讀者網を固めて下さい！

よい仲間のかた／＼に、それ／＼の土地でしつかり働いて頂きたいと思ひますので來年度より、私は努めて地方へ出かけたいと存じます。讀者を中心にする集りには最も多く出かけたいと思ひますからこの際一つ、新讀者の獲得と紹介にお手傳下さい。どうぞ。

私たちが婦人セツルメント運動に進出してから、より廣い接觸面をもつて多くの人とつながる樣になつた喜びはこの希ひの上に立つものだと信じてゐます。

昭和五年は、相變らずの貧しさの内にまことに本意ない雜誌を作つてはお恥しいことでありました。一つ、來年度から婦人運動の編輯を、讀んでゐて下さる皆樣との協力の上に移してやつてみたら如何でせう。

どうぞ考へてみて下さい。よい案を聞かせて下さい。

この頃新讀者を紹介して下さる方がめつきり多くなりましたよい仲間がどん／＼實際の仕事にも加つて來てほしいものでございます。同時に實際の仕事に手が擴がるだけ讀者が殖えないと經濟的にまゐつてしまふのです。

どうぞ、この方面にも、助力して下さい。（むめお）

昭和五年十一月廿五日納本
昭和五年十二月一日發行
◇誌はすべて前納にして下さい

誌代
壹部 貳拾錢（郵税一錢）
半年分 壹圓貳拾錢
壹年分 貳圓貳拾錢

編輯發行兼印刷人 奥梅尾
東京市本所區林町二ノ七八
職業婦人社
振替東京六四一六〇番

100%的

産兒制限器具
（さんじせいげんきぐ）

社會民衆黨東京市會議員 東京市社會局囑託 ドクトル馬島 僴氏談



婦人用の避姙用具は、實に多種多樣であるが、嚴密な醫學上の立場から見てその多くは甚だ效果の疑はしいものである。

たゞイギリスで專ら用ひられてゐる子宮キャップと、オランダでひろく認められて居る膣奥閉塞膜（ペッサリー）の二種は、現今醫學が數へる範圍での最も理想に近いものと云へる。

しかし私の經驗で、イギリス型は一々醫師が取扱はないと屢々失敗の虞れがある。これに反してオランダ型は、素人が自ら極めて簡單に用ひられて、未だ失敗の例も見出さない。私は主としてオランダ型を採用して來た。

だが輸入品は、とかく高價なので、日本に於てよきオランダ源のものを製作し度いと考へ、小柳ゴム製作所に依頼して、特に私の長い間の經驗から得た考案を、注意深く加へて製作したのが即ち今回發表された本品である。

滿足なるこの製品を得るまでには可なりの長い時日を費した。醫師としての責任上私はたとへどんな小さな缺點でも容認する事は出來なかつた。私は樣々な製作過程によつて製作された試作品を數十回に亘つて一々嚴密な實驗をして見ねばならなかつた。此の間小柳氏の驚く可き熱心さとうむ事なき努力とは私のうるさい注文や注意を一々充分に研究し工夫し次から次と夥しい試作品を提供してくれた。か樣にして遂に今日發賣される物の樣な極めて滿足な製品に迄到達したのであつた。

ゴムの性質は勿論、ワクの太さ、彈力の度合、その取り付け方など主要部分の出來上りは外國品に優るとも斷じて劣るものでない事は、私が證明し得る。敢て私から一般大衆におすゝめする次第である。

馬島式ダッチペッサリーの臨床的效果

愛兒女性協會女醫 尾崎豐子氏談

專門的に、毎日澤山の御婦人達の避姙に關する御相談を受けてゐますが、日本婦人が、在來の習慣的又は風習的な道徳觀から失禮でございますが性問題に對してあまりにも隱蔽的であり、無智でありますが爲、とんだ操作によつて恐ろしい危險を招かれた方が隨分多い樣でございます。

で私は「誰もが手輕に何等の危險なく、完全に目的を達し得られる物」として誰方にも先づ馬島式「ダッチペッサリー」をお勸めします。生理的にも心理的にも寔に申分がなくて、今日迄まだ一度も、不都合や不滿足や失敗やのお小言を受けたことがございません。外國品に優る小柳製の改良型が出來ましたから、日本人にピッタリと合ふ理想品がお安く手に入る樣になりまして大變喜んでをります。

ドクトル馬島僴氏改良 マジマ ダッチペッサリー

▼詳細な使用法付說明書進呈

このペッサリーは第五回産兒制限國際會議に於ける醫師部會に出席せられた多數によつて、支持せられたもので、且つ和蘭政府公認、産兒制限相談所では、本品を四十年來推奬使用して好成績を擧げて居ります。その他英國に於ける新マルサス聯盟も本品を推奬してゐます。

定價	
小形（未産婦用）	一圓五十錢
大形（經産婦用）	一圓五十錢
送料	各十二錢

勤勞階級大衆の爲、組合團體の御註文は特に割引申し上げる規定があります。

ドクトル馬島僴氏改良 馬島式婦人衞生器（別名馬島式子宮洗滌器）

本品は英國型を更に改良して臥床のまゝ洗滌し得る最新式の物

▲定價 二圓五十錢 送料十二錢

小柳式婦人衞生器（別名小柳式子宮洗滌器）

最も簡短によく洗滌し得られる特徴を持つて居ります。

▲定價 一圓 送料十二錢

◉馬島式のダッチペッサリーと共に、右のいづれかの婦人衞生器を御併用になれば、一層確實性を增大することが出來ます

マジマ
ダッチペッサリー



決定的な優秀點

◆素人自ら手輕に使へる
◆絕對的なその效果
◆少しも不快を覺えない
◆自他共に使用感がない
◆永く使へて經濟的

東京市神田區裏猿樂町
小柳ゴム製作所
神田郵便局前通り
電話神田局二六三八番
振替東京六五一三八番

職業婦人社代理部
振替東京六四一六〇番

（廣告）　産兒制限と器具に就て

文藝戰線叢書

定價各冊 五十錢

3. 明治初年の政治的農民一揆

田村榮太郎著

明治維新革命による封建大名の沒落と農民大衆の蜂起！
これは現代農村社會狀勢にすつぽり當はまる農民諸君の必讀書

4. ブルジョア經濟ＡＢＣ

水木棟平・青山北一 共著

ブルジョア經濟のカラクリを徹底的に暴露すー
帝國主義日本の解剖はまづ經濟から！ 讀め！

5. 天井裏の善公

金子洋文著

これこそ日本プロレタリア階級がもつ大衆的大傑作！
天井裏の善公が見た資本主義日本の社會は！ 挿繪入長篇

6. 日本無產階級の戰略

猪俣津南雄著

日本無產階級運動に咲ける毒華、フクモトイズムの克服！
本書からのみ眞の正しき左翼戰術が編み出される！

7. ケルンの鐘

小島勗著

著者快心の階級的作品を集め、其の重厚！ 其の尖銳！
「轉戰十日間」「ケルンの鐘」「地平に現れるもの」其他三篇

東京市外高圓寺五五三
振替東京五九三八七番

文藝戰線社出版部

大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可
昭和五年十一月二十五日印刷納本

婦人運動 第八巻

定價二十錢

復刻版 婦人運動 第3回配本
（第11巻～第15巻）

1990年12月25日 発行

本体揃価格 50,000円

発行者 船橋 治
発行所 不二出版(株)
東京都文京区向丘1－2－12
〒113 ☎03(812)4433
印刷所 三進社
製本所 吉田製本工房

中性紙使用
乱丁・落丁はお取り替えいたします。